

経験

フォニックス アリゾナ州 アメリカ合衆国
1947年12月07日



www.messagehub.info

ウィリアム・マリオン・ブラハム

"...第七の御使が吹き鳴らすラッパの音がする時には、神がその僕、預言者たちにお告げになったとおり、神の奥義は成就される。" 黙示録 10:7

はじめに

際立ったウィリアムブラナムのミニストリーは、マラキ4章4,5,6及びルカ書17:30と黙示録10:7と多くの聖書の預言に対する聖霊からの答えなのです。この世界規模のミニストリーはこの終わりの時に聖霊による神の御業の継続なのです。それは聖句の中にあり、イエスキリストの再臨のためにある人々を整えるために立ち上げるために必要とされていると書かれています。

あなたが祈り深くこのメッセージを読むとき、この印刷された御言葉があなたの心に刻まれるようにと祈ります。

メッセージの正しい転写、翻訳を提供できるように最善を尽くしておりますが、英語の録音がウィリアムブラナムによって語られた説教をもっともよく表しているものです。

オーディオや転写された1100の説教がウィリアムブラナムによって語られたものが無料でダウンロード可能で又多くの言語で印刷可能になっています。(日本語での翻訳あり)

変更が行わないかぎり、メッセージを無料でコピー、配布することは許可されています。

愛する兄弟。

ああ、

愛するイエスよ、

どうか祈ります。

ニューメキシコから来た

この女性を祝福してください。

彼女が

癒されますように。

父よ、

彼女が

喜びながら、

心から感激しながら

家へ帰り、

健康になりますように。

私は

この盲目の霊を叱責します。

イエス・キリストの御名によって、

この女性から出て行け。

経験

1 …今 の午後、再びここに戻って来て、皆さんと共にいられることを嬉しく
っています。

先週の日曜日にはここへ来ようとしたのですが、飛行機がすべて地上待
機になってしまっていました。どうにかして来ようと試みたのですが、完全に止ま
ってしまっていて、皆さんのところへ来る方法がまったくありませんでした。

けれども、できる限りのこととして、私はずっと皆さんのために祈っていま
した。

そして聞いたところによると、兄弟たちが——多くの兄弟たちがこの壇上
に立って祈り、たくさんの人々のために祈りがささげられ、癒された人々も多くい
たそうですね。

それを聞いて、私は本当に感謝しています。

さて、これで私たちは、ここフェニックスで行っているこの日曜礼拝シリ
ーズの第六回目の日曜日になります。

そしてこの後、まだ二回の日曜日が残っています。

私は、多くの人々がここにおられる神のご臨在から大きな祝福を受け、多く
のクリスチャンにとって益となることを信じています。

聞くところによると、ここにはシカゴから来られたご婦人や、ほかにも遠くか
ら来られた方々がおられるそうですが、滞在できるのはあと一日だけとのこと
です。

先週の日曜日にはその方にお会いすることができませんでしたので、長く
滞在できない方々を最初に祈りの列にお通ししたいと思います。

ですから、姉妹よ、つい先ほど部屋であなたの伝言を受け取りましたし、外
でも別の方から聞きました。

私は、できる限りすべての方のために祈るつもりです。

2 皆さんの多くは、二週間前の日曜日、こここの講壇で起こった出来事を覚
えておられると思います。

数週間前のこの場所で起こった、あの出来事です。

皆さんの多くは覚えておられるでしょう？何が起こったのかを。

あれは、私の生涯の中で、その時としては最も——最も恐ろしい出来事の一つでした。

そして皆さんの中には、そのことをよく理解していない方も多と思います。

そこで私は、この午後の時間に一度、このことについて皆さんに説明し、証しをするのがよいのではないかと思いました。

もちろん、こうしてお話することで、皆さんもこのことをもっと理解できるようになるでしょう。

今回の集会は、北西部一帯で行われてきましたが、私にとっては少し負担が大きすぎたようでした。

私はついに、自分の意識を取り戻すまで四十四時間も意識を失うという状態にまでなってしまいました。

しかし、その間にも何千、何万という人々が私のために祈ってください、

また病人のために祈りがなされ、多くの人々が癒されました。

そしてバンクーバーから始まり、ポートランドへ、ポートランドからセーラム、アシュランド、さらにボイシへと続いた一連の集会を通して、

多くの人々が大きな祝福を受けたことを、私は喜びをもってお知らせします。

しかし、その中で、私がずっと泣きながら神に求めてきたことがあります。

それは、あるしるしを私に与えてくださるようという祈りでした。

それが何を意味するのか説明するのは、少し難しいかもしれません。

しかし私にとっては、それはこの世のどんな癒しよりも大きな意味を持っています。

そして私は、自分がこの地上に存在している理由そのものが、そこにある

この兄弟の肺の病を

癒してください。

神の御子

イエス・キリストの御名によって。

神が

あなたを祝福して下さいますように。

それは

神経から来ています。

信じてください。

神よ、祈ります。

どうか

この愛する男性を癒してください。

父よ、

今日、彼の目の視力を

回復させてください。

私の祈りを

聞いてください。

イエス・キリストの御名によって

お願い申し上げます。

アーメン。

神が

あなたを祝福して下さいますように、

彼を癒すことができます。

父よ、どうかそれを成してください。

サタンよ、この兄弟を縛っている

喘息の病よ、イエス・キリストの御名によって彼を離れよ。

神があなたを祝福してくださいますように、兄弟。

私は信じています。あなたは喜びながら家へ帰るでしょう。

今、その振動は

私の手から去りました。

だから行きなさい。あなたは健康な人になります。

神があなたを祝福してくださいますように。

父よ、

どうか祈ります。

あなたの御子

イエス・キリストの御名によって、

この姉妹を癒してください。

アーメン。

神が

あなたを祝福してくださいますように、

愛する姉妹。

神よ、

祈ります。

[テープ欠損]

と信じています。

もし、今起こっていることがすべて整い、神の御心どおりに働くならば、

私はそのとき、主のもとへ帰ることさえできるのではないかと思うほどです。

というのも、私の理想はいつもただ一つ、

教会が一つとなること、

人々が共に神を礼拝している姿を見ること

それだったからです。

3 そして先週、私はアッセンブリーズ・オブ・ゴッド、チャーチ・オブ・ゴッド、フォースクエア教会、そしてペンテコステ・ワンネスが一つに集まっているのを見ることができました。

彼らは合同のリバイバル集会を開いており、バプテスマ式なども含めて共に行っているのです。

それぞれの人が一つの心、一つの思いで確信を持ち、

そこで毎日のように何百人もの人々が救われているのです。

それは大きな合同リバイバルでした。

ああ、本当に——それは私にとってどれほど大きな意味を持つことでしょう。

私にとっては、それはこれまで私がこの働きの中で行ってきた多くの集会よりも、はるかに大きな祝福でした。

神がご自身の教会の中で、人々を一つに集めておられるのを見ること——

それこそ、私が見たいと願っていた本当のペンテコステです。

もしそれがどこでも起こるなら、イエスはすぐにでも来られるでしょう。

人々を引き離しているのは、ただそれぞれの宗派の小さな違いにすぎません。

しかし、福音の根本的な真理は、皆同じなのです。

私は、人々が互いに理解し合い、心を合わせてリバイバルを持つのを見るのが好きです。

そして、それこそが私たちに必要なことなのです。

実際、それはバンクーバーからボイスに至るまで起こっていました。

一つの心、一つの思いとなり、アッセンブリーズ・オブ・ゴッドの牧師たち、フォースクエア福音の牧師たち、

そしてここにおられる皆さんの中にもおられるように、チャーチ・オブ・ゴッドの代表の方々までもが共に集まりました。

それは本当に、私の生涯で一度も見たことがないほどの一致でした。

彼らはテーブルを挟んで互いに抱き合い、

涙を流しながら喜び合っていたのです。

それこそ、私が見たいものです。

私はそれが好きなのです。

そうやってこそ、本当のリバイバルが起こるのです。

そして彼らは合同リバイバルを続けています。

一週間はアッセンブリーズ・オブ・ゴッドで行い、

次の週はフォースクエア教会で、

その次はチャーチ・オブ・ゴッド、

そして次はペンテコステ・ワンネスで、

そのように順番に巡りながら続けていくのです。

ああ、それは本当に素晴らしいことです。

私には、それは何よりも価値のあることに思えます。

それは、キリストのからだの癒しだからです。

神があなたを祝福してくださいますように、姉妹。

父よ、ここに今、救世軍の女性が立っています。

ああ父よ、どうか彼女を癒し、強くしてください。

彼女は神経が弱り、疲れ切っています。

このままではやがてサタンは彼女を

精神病院の独房に閉じ込めてしまうでしょう。

もしサタンの思い通りになるなら。

しかしあなたの道は違います。

あなたの道は健康の道です。

どうか彼女がこれからは

その健康の道を歩き続けますように。神経の霊よ、

イエス・キリストの御名によってお前を叱責する。

彼女から出て行け。アーメン。

神があなたを祝福してくださいますように、姉妹。

これからは喜びながら歩み、

証ししながら進んでください。

97 愛する父よ、どうか

この兄弟を癒してください。

彼はミネソタから

祈りを受けるために

はるばる来ました。

そして主よ、あなたはここにおられ、

ちよどの長さで切ってください。

そして

明日の夜、

または次の夜に、

同じひもを

もう一度この子の腰に巻いてください。

そして

どれだけ縮んだかを

確かめてください。

それを

少なくとも

2日か3日続けてください。

そうすれば

私が言ったことが

本当だと分かるでしょう。

神があなたを祝福してくださいますように、姉妹。

96 姉妹よ、信じてください。

(姉妹がブラナム兄弟に話す一編集)

はい。神があなたを祝福してくださいますように、姉妹。

あなたは尊い働きの中にいますね。

救世軍(サルベーション・アーミー)の働きです。

私は本当にそれを感謝しています。

そうです。

それこそが本当の**神の癒し(Divine healing)**なのです。

キリストのからだが一つにされるとき、

私たちが共に結び合わされるとき——

それこそが、真の神の癒しなのです。

4 さて先週まで、私は民数記から教えをしていました。

イスラエルの子らがエジプトから導き出され、約束の地へ導かれていくことについて語っていたのです。

そして私たちは、そこですばらしい時を持ちました。

しかし今日はどうかお許してください。

どうかご容赦ください。

私はとても弱っており、ひどく疲れているのです。

ですから今日は、その続きの教えをする代わりに、いくつかの証しや出来事の要点を皆さんにお話ししながら進めていきたいと思えます。

そのあとで癒しの祈りの列を持つことにしましょう。

私がああのをしていたのは、ある一つの目的のためでした。

しかし私は今、自分自身の人間的な力では、それを成し遂げることができないと感じています。

それでも、神が助けてくださるよう祈っています。

このフェニックスでの集会は、私がこれまで経験した中でも最も困難なものでした。

集まる人数も、これまでで一番少ないものでした。

それでも——

世界中のどの町よりも、私はフェニックスを愛しています。

本当に、私はこの町が好きなのです。

そして私は、いつの日かここを自分の家としたいと願っています。

だからこそ、サタンはここで私に対してこんなにも激しく戦いを挑んでくるのです。

そうなのです。

しかし、神の恵みによって私は勝利します。

神の恵みによって、

私が求めているものを必ず受けることになるでしょう。

5 そして、私がフェニックスで見たいと願っていることがあります。

私はただ、神がそれをしてくださるよう祈っています。

それは、フェニックスの教会が、あの北西部の地域で見たように、

一つの心、一つの思い、そして一つの場所に集まることです。

私たちはそれができます、友よ。

できますよね？

そして私は、神が私たちを助けてくださると信じています。

どうか誤解しないでください。

私は、誰かが自分の教会の教理を捨てるべきだと言っているのではありません。

それはそれで良いのです。

しかし私が言っているのは、

心をついにし、思いをついにし、一致することができるのではないか、ということなのです。

それが私たちすべてのクリスチャンにとって可能なことだと、私は確信しています。

あなたは

もう良くなりますよ。

かわいい子。

さて、お母さん。

……？

あなたの部屋にある

ひもを一本持ってきてください。

そして

そのひもを

この子の腰に巻いてください。

こんなふうに。

さて、

あなたは

ここにしばらく滞在しますか？

それとも

帰る予定ですか？

そのひもを

こうやって腰に巻いてください。

そうすれば

私が本当のことを言ったかどうか

分かります。

そのひもを

しるしを与えてください。
この子が
良くなることのしるしを。
サタンよ、
神の御子
イエス・キリストの御名によって
お前に立ち向かう。
この少女から出て行け。
イエス・キリストの御名によって
お前に命じる。
彼女を
離れよ。
ほら、
私が顔を上げる前に
それは止まりました。
では母親よ、
ここを見てください。
(皆さん、
今ここで
私の手を見てください。)
さあ、
小さなお嬢さん、

問題はただ一つ、
サタンが私たちの間に入り込むことなのです。
皆さんもそういませんか？
彼はそのようにして働きます。
それが彼のやり方なのです。
しかし私は信じています。
神が秩序を動かされる時が来ていると。

6 さて、少しだけ——前回のメッセージの続きとしてお話しします。

私は先週の日曜日、イスラエルの子らの話を預言者バラムのところで止めたままでした。

そしてそのとき、私は自分自身に対する戒めを語ることになりました。
先々週の日曜日、ここにおられてそれを見た方はどれくらいいますか？
あのとき、私に何が起こったかを、皆さんは見ましたね。
そうです。

私は自分自身に対する深い戒めを受けたのです。
キッドソン兄弟と私は、これまでいつもこう言ってきました。
どんな病気であっても、
どれほど重いものであっても、
祈りの前に立つなら、決して残ることはない。
どんな苦しみでも、
どれほどひどく体が不自由であっても、
もし私がその人のために十分に時間を取って祈るなら、必ず癒されると。
私はどこでもそのように語ってきました。

皆さんもそれを聞いたことがありますね。
 そしてそれは真実です。
 今でも真実なのです。
 しかし今、大きな試みの時が過ぎ去りました。
 そして私はそれを、
 つまづきの石ではなく、踏み石として受け取ることにします。
 それによって、私は主の道をもっとよく学び、
 さらに主に近く歩むことができるようになるためです。
 そして私が主に近く歩むほど、
 私はもっとこの人々を助けることができるでしょう。
 また、主の御霊に導かれて働くことができるようになるのです。

7 さて、それではこの話に入る前に、まず祈りの言葉をささげたいと思います。

そのあとで、少しの間お話しをして、これまでに起こったいくつかの出来事について証しをしたいと思います。

そしてその後、祈りの列を始めます。

祈りを望んでいるすべての人のために、十分な時間を取って祈るつもりです。

特に、これからの他の集会には来ることができない方々のためには、優先して祈りたいと思います。

その理由についても、あとでお話しします。

そして、このことを言う前に、祈る前に、

私は神に感謝をささげたいと思います。

というのも、神が再び私に癒しの賜物を戻してくださり、

(会衆は

「ただ信じなさい (ONLY Believe)」を歌い続ける)

95 もしあなたが

今この町におられたなら、

父よ、

私たちは皆

あなたのところへ走って行ったことでしょう。

もしあなたが

ここにおられたなら。

しかしあなたは

高いところへ昇られ、

人々に賜物を与えられました。

聖書に

そう書かれています。

だから人々は

この子どもを連れて、

遠くから

ここまで来ているのです。

父よ、

どうかこの子を憐れんでください。

そしてあなたのしもべに

人々の前で

これから
15人か20人ほどを
ここに通します。
そして通るときに、
私がその人たちと握手します。
では皆さん、
静かに歌いましょう。
(会衆)
♪ ただ信じなさい
ただ信じなさい
すべてのことは可能
ただ信じなさい ♪
[テープ欠損]
手を上げてください、姉妹。
ああ、
彼女が
どれほど神に仕えていることでしょう。
……
左側のあたりです。
見てください。
皆さん、
「主を賛美します」と言いましょう。

さらに大きな働きを与えてくださったからです。
先々週の日曜日以降、この二週間の間に、
これまで何か月も経験しなかったほど、多くの病人のために祈ることができました。
その通りです。
それは最初の時よりも、さらに豊かな祝福となって戻ってきました。
そして皆さんも、この集会の中でそれをきっと感じ取ることができると思います。
8 それではまず、皆さんどこにおられても、敬虔な思いで頭を垂れて祈りましょう。
愛する天の父よ、
私たちは今日、ただできる限りのへりくだった心で、あなたの御前に近づいてまいります。
そして思い起こします。
この講壇に最後に立ったとき、私は罪に定められた者のように立っていたことを。
ここに立ちながら、あなたなしでは自分がどれほど無力であるかを思い知らされました。
あなたの御臨在が私から離れてしまったのを感じ、
ただ少し耳が遠いだけだった一人の小さな女の子の前に立ったとき、
その子がこここの講壇で完全に耳が聞こえなくなってしまうのを見ました。
また、一人の男性も耳が遠かっただけなのに、
ここから去るときには完全に耳が聞こえなくなっていました。
ああ、キリストよ、
私は悟りました。

あなたなしでは、私は失敗者です。
私は自分一人では進むことができません。
それで、このような時に、父よ、私は決心しました。
あなたなしでは、私は——家に帰ることさえしないと。
なぜなら、もしそうしたなら、
あなたの御名にそしりをもたらすだけになるからです。
神よ、どうか私が決してそのようなことをすることがありませんように。
(録音欠損)
彼らは皆、癒されるでしょう。
一人残らず癒されます。
父よ、今日の午後、私が語る証しをどうか助けてください。
それを通して、人々が理解することができますように。
そして、ここにいてすべての人が祝福を受けますように。
父よ、
富む者も、見捨てられた者も、白人も、黒人も、すべての人々が——
今、私たちと共にいてください。
そしてあなたの聖霊を私たちすべての上に注いでください。
この礼拝を通して、あなたが栄光をお受けになりますように。
そして、疲れ果てたあなたのしもべを助けてください。
私たちはこれを、
イエス・キリストの御名によって祈ります。
アーメン。

その間、
皆さんには
この歌と一緒に歌っていただきたいのです。
兄弟、
この集会の
賛美リーダーの方、
前に来ていただけますか？
この集会の
賛美を導いている方です。
どうぞ来てください。
ハーシェル兄弟。
それでは
「ただ信じなさい(Only Believe)」
を歌ってください。
そして牧師の皆さん、
祈りの列のところへ行って、
人々が列を通るとき、
その人たちのために祈ってください。
今、
そうしていただけますか？
皆さん、
少しの間だけ立っていてください。

望んでいる事柄の実体であり、
目で見ず、
味わわず、
触れず、
嗅がず、
聞こえなくても、
それを確かなものとする証拠だからです。

神よ、
どうかそれを成してください。
彼らが皆
完全に良くなりますように。
そして私たちは
あなたがしてくださったすべてのこと、
そして
これからして下さるすべてのことのために、
感謝と賛美をささげます。
イエス・キリストの御名によって。
アーメン。

94 では皆さん、
少しの間、全員立ちましょう。
これから
この方々を祈りの列に通していきます。

9 さて、最後に――

神がその御使いを遣わしてくださった時のことですが……

ここにおられる皆さんの中で、

神の御使いによって癒しの賜物が私に与えられたことについて聞いたことがある方は、どれくらいおられますか？

ほとんどの方がご存じですね。

親愛なる友よ、

あのような状態で何時間も横たわっていたとき、私はあることを悟りました。

私は一枚の紙を取り、外へ出る前に、

これが自分の人生の終わりかもしれないと思ったのです。

そして私は妻に宛てて、これからどうすればよいかを書き残しました。

またキッドソン兄弟や、ほかの兄弟たちへの短いメモも書きました。

というのも、そのとき私は、

自分の命をつなぎ止める力が自分にはまったくないということを悟ったからです。

命はいつでも失われるかもしれない、

そういう状態でした。

しかし、もしこれが皆さんとの最後の集会になるとしても、

私は神の御前で言います。

あの御使いの訪れは真実です。

そのとおりです。

それは真実です。

今ここで、私のそばにこの聖書を置いて立ちながら、

私は皆さんに真実を語ってきました。

たとえこの瞬間に私が死ぬことになったとしても、

それは真実なのです。

10 しかし問題はここにあります。

私の性質として、私は人の話を聞くのが好きで、できる限りすべての人を助けたいと思ってしまうのです。

ところが、そうしているうちに、

私の人間的な思いが神から離れてしまうことがあるのです。

お分かりでしょうか。

私の願いが、いつも神の御心とは限らないのです。

人々は私にいろいろなことを頼んできます。

そして私は人を愛しているので、以前も言ったように、それを断ることができないのです。

かつて私は、あまり友だちがいませんでした。

私がいた人々の間では、私は弱々しい者のように見られていて、

友だちがほとんどいなかったのです。

しかし神の民の中に出て来てから、

神は私に何百万もの友人を与えてくださいました。

そして私はその人たちをととても愛しているので、

彼らのためならどんなことでもしてしまうのです。

私は心からこのことを知っています。

もしどこかから新しい力を受け取ることができなければ、

来年の今頃には、この働きをしているのは私ではなく、別の誰かになっているでしょう。

神の御霊に満たされますように。

父よ、

今夜もまた

多くの人が救われますように。

そして今、

祈りの列を通して来る人たちを

あなたはご存じです。

どうかあなたの御霊が

非常に力強く臨み、

彼らが通る時、

私が

彼らの手を取るとき、

神の祝福が

一人ひとりの上にとどまりますように。

そして彼らが

今日この建物を出て行くとき、

喜びながら、

あなたに感謝しながら、

自分が癒されたことを

信じて帰ることができますように。

なぜなら私たちは知っています。

信仰とは、

ああ神よ、
どうか祈ります。
今日の午後のこの集会のゆえに、
救われる魂が起こされますように。
そして今夜、
彼らの牧師たちが
油注がれますように。
フォークナー兄弟、
アウトロー兄弟、
フラー兄弟、
そしてここにいる
すべての兄弟たち、
あなたのしもべたちが、
今夜
特別に油注がれますように。
そして
神の力が彼らの中に現れ、
彼らが
これまでにないほど大胆に語りますように。
罪人たちが
涙を流しながらカルバリへと導かれ、
そこで

というのも、どれほど人々が励ましてくれても、
私は自分の中で人間的な力がだんだん失われていくのを感じているから
です。
それは、私の心の中にある何かが、
人々のところへと手を伸ばしてしまうからです。
そして私は、かつてこう言いました。
だから私はその言葉のとおり生きなければなりません。
私はいつも、あの詩を好んでいました。
「人生の詩(Psalm of Life)」の中の言葉です。
「別れは、
時の砂の上に
足跡を残していく。」
私がこの世を去るとき、
人々に知っていてほしいのです。
私がここにいる間、
神とその教会に仕えるために、
自分にできる最善を尽くしたのだということを。
そのとおりです。
それは神の教会のためであり、
すべて神の栄光のためなのです。
11 さて、イリノイ州ヴァンダリアで、あの御使いの訪れがありました。
それは先週、あるいはその前の日曜日に、皆さんにお話ししたとおりです。
覚えていますか、私がそのことを語ったのを。

それから次に御使いが現れたのは、私がここに来る直前のことでした。

二週間前の日曜日、私は部屋にいました。

カナダ中を巡り、あちこち回ってきた後でした。

その間、私は一度も御使いを見ることはありませんでした。

そして私は部屋で横の方を見ながら座っていたのですが、

ふと部屋の中に何かがあるのに気づきました。

それで振り向くと、

そこに神の御使いが立っていて、

私を見つめておられたのです。

私はすぐに顔を伏せて倒れ込みました。

しかし、そのとき——

リンゼイ兄弟がいました。

彼は北部の集会で、アッセンブリーズ・オブ・ゴッドのキャンペーン・マネージャーをしていた人です。

彼は私の叫び声を聞いて、部屋に入ってきました。

もちろん、彼はそれをしようと思っていただけではありません。

彼はとても立派な方です。

しかし彼が部屋に入ったとき、

おそらくそれが何かを中断してしまったのでしょう。

そして——

御使いは去ってしまいました。

12 それから、その次の日曜日に、私はすぐここに来ました。

その出来事があったのは金曜日でした。

では今、

列にいる皆さんのために祈り、

一人ずつ

前を通ってもらいましょう。

そうすれば

私が手を置いて祈ることができます。

聖書には

「病人に手を置けば、

その人は回復する」

と書かれています。

そうでしょうか？

93 天の父よ、

あなたをご存じです。

私たちの時間がもう終わりに来ていることを。

そして私たちは知っています。

主イエスも

大勢の群衆の中で働かれた後、

時には

退いて休まれたことを。

しかし父よ、

今は、これらの牧師たちが

それぞれの教会に戻る時です。

92 ほら、神は本当に生きておられるのです。
……では、見てみましょう。
あとどれくらいの方がいますか？兄弟が言うには、
もうすでに……どうやら
会場を閉めなければならないようです。
もしここにいる人たちが
次の集会に戻って来られないなら、私は
ここにいる全員のために祈ります。
そしてできるだけ多くの人に
祈りの列を通ってもらいましょう。
(姉妹、あなたは信じますね？)
誤解しないでください。
私はただ
皆さん一人ひとりのために
祈りたいのです。
まず最初に、
今日の午後、
ここにいるすべての人が
解放されたことを、
私たちは
神に感謝します。
そうでしょう？

そして日曜日にここへ来たのですが、
私はそのとき、どの聖書の箇所から語るのかも分かっていませんでした。
私は普段、あらかじめ聖書を読んで準備することはありません。
しかしそのとき、民数記22章が与えられました。
そこで私は預言者バラムについて語り始めました。
バラムが呼ばれ、そして下って行こうとしたとき、
神は最初にこう言われました。
「あの人たちと一緒に行ってはならない。」
しかし彼はもう一度祈り、
さらに祈り続けました。
そして結局、バラムの場合は、
お金を愛する心があったために行こうとしたのではないかと私は思いま
す。
正確なことは分かりません。
私はここに来るまで、それをはっきりとは考えたことがありませんでした。
しかし、おそらくそれは金銭への愛だったのでしょう。
しかし私の場合は違いました。
それは金銭への愛ではなく、
人々に対する同情の心でした。
けれども——
どんなに小さなことであっても、
どんなに大きなことであっても、
神に従わないことは、すべて間違いなのです。

そのとおりです。

それが何であっても、

神に背くことは決して正しくありません。

13 それでバラムはそこへ向かって進んで行きましたが、

主の御使いが道の途中で彼に立ちはだかりました。

そして、友よ、

私がある箇所に来たときのことでありますが……

私はよく分からないのです。

しかし、何かがここ(心)に強く触れたのです。

そのとき私たちは、祈りの列を整えていましたが、

そこではただ奇跡だけが起こっていたのです。

そうです。

奇跡以外には何も起こっていませんでした。

そして私がここ講壇に立ち、

バラムについて皆さんに説教していたとき、

私は御使いが道の途中に立っているのを見たのです。

しかし、バラムはそれを見ることはできませんでした。

彼が乗っていたろば(ラバ)だけがそれを見たのです。

そして道はやがて狭いところへ来ました。

門を通るような非常に狭い場所でした。

そこでも、御使いは再び現れました。

ろばはそれを見ましたが、

それと同じです。

しばらくすると、

自分がその病気を持っていたことさえ

忘れてしまうでしょう。

あなたは

もう大丈夫です。

神が

あなたを祝福して下さいますように。

ご主人のお名前は？

ウォルター・ベックマン。

そうですか。

神があなたを祝福して下さいますように、姉妹。

それはとても素晴らしいことです。[テープ欠損]

……?ここに座っている女性は、何か思い出しているようです。

彼女の頭が車の後ろにぶつかったことがあったそうです。

[テープ欠損]その人はこう言いました。

「大丈夫です。ブラナム兄弟に会いに行ったら、

帰るときにはこの腕の装具を外せるでしょう。」

するとその少年は即座に解放され、装具を外し、

それを背中に背負って床を歩いて行きました。そうでしたね？

牧師の皆さん。さあ皆さん、「主を賛美します」と言いましょ。

ああ神よ。神があなたを祝福して下さいますように。

聞いてください。
そして彼らが
国へ帰り、
祈り、語るとき、
この証しを
携えて行くことができますように。
あなたが
癒し主であるという証しを。
悪霊よ、
イエス・キリストの御名によって
この女性から出て行け。

91 神があなたを祝福してくださいますように、姉妹。

その振動は
すべて消えました。
いいですか、
今あなたの胃は
ただ炎症を起こしている状態です。
たとえば、
手に発疹ができて、
そこに薬を塗ると、
すぐ完全には治らなくても
だんだん良くなっていくでしょう。

バラムは主の御使いを見ることはできませんでした。
そして私はそこで悟りました。
私たちはどれほど神に背いてしまうことがあるのかということ。
そのとき私は、
御使いの現れが何を意味していたのかを理解しました。
そして初めて気づいたのです。
それは本当に真実だったのだと。
そして私は思いました。
私はなんとという間違いをしてしまったのだろう。
私は人々の前で、
神の力についてある断言をしてしまっていたのです。
しかしそれは、
神の御子でさえそのように言われたことがないほどの言い方でした。
私はある挑戦のような言葉を語ってしまったのです。
(録音欠損)

14 どうして神が、あのようなことをしている私をそのまま許してくださっていたのか、

私には分かりません。
私は、人が信じていようと信じていまいと関係なく、
「とにかく前に出て来なさい」と言っていたのです。
なぜなら、私は神の力と力能を知っていたからです。
しかし、神がどうしてそのようなことをしている私を
そのまま見逃してくださっていたのか、

本当に分からないのです。
というのも、イエス・キリストでさえ、
人々の不信仰のために、多くの力ある業を行うことができなかつたと書いてあります。
それは聖書の言葉ではありませんか？
それを考えてみてください。
イエスご自身の中にどれほどの力があつたのかを。
それなのに私は、ただ癒しの賜物を持っているというだけで、
信じていようと信じていまいと関係なく、
「誰でも来なさい」と言って挑戦するようなことをしていたのです。
そして神は、
六か月もの間、
私がそのようにしているのを許しておられました。
しかしそれに気づいたとき、
私の心は張り裂けるほど苦しくなりました。
自分が何をしていたのかが分かつたからです。
私は皆さんの前に立って説教しようとしていました。
しかしできませんでした。
それは私の心を完全に打ち砕いてしまったのです。
そして講壇に立ったとき、
私は気づきました。
私はバラムがどれほど悪かつたかを説教していたのに、
自分自身がバラムの立場に立っていたのです。

私たちは……
[テープ欠損]
「先生、私たちはイエスに会いたいのです。」
ああ、
私たちはどれほど
イエスを愛していることでしょう。
私は感謝します。
この若い牧師のために。
父よ、
どうか祈ります。
彼の人生が
豊かな実を結びますように。
そして今、
彼の伴侶が
あなたの前に来ています。
[テープ欠損]
彼を
あなたが遣わされたのは、
彼の妻が癒されるためでもあります。
父よ、
どうか
あなたのしもべの祈りを

胃に
問題があります。
[テープ欠損]
愛する父よ、
あなたは
すべての人の心を知っておられます。
そして私は
あなたのしもべです。
[テープ欠損]
ここに
若い牧師がいます。
神よ、
この夫婦の人生が
あなたのために実を結びますように。
父よ、
私たちは感じています。
もう働くことのできる日が
あまり残されていないことを。
そしてやがて……
[テープ欠損]
私たちはイエスにお会いするでしょう。
父よ、

私は、主の御使いがかつて私に会って
「それをしてはならない」と言われたことを、
まさに自分が行っていたのです。
そして私は思いました。
どうして御使いは六か月もの間、私を訪れなかったのだろうか。
それは、私が癒しの賜物を奇跡を行うことだけに縛りつけてしまっていた
からでした。
しかし実際には、
奇跡はあらゆるところで起こっているのです。
だから、もし神が望まれるなら、
誰を選ばれるかは神ご自身に任せればよいのです。
私はただ、
自分の霊の中で導かれるままに、
主が私に何をするように言われるのか、
それに従えばよいのです。
そうです。
それこそが聖書的なのです。
15 イエスがあの池(ベテスダの池)に行かれたとき、
そこには、おそらく今日この建物の中にいる人数と同じくらい、
あるいはそれ以上の、足の不自由な人々や病人たちが横たわっていました。
イエスはその人々の中に入って行かれ、
ただ一人の人を選びました。

それは、神に導かれてそうされたのです。

そしてその人に言われました。

「良くなりたいか。」

その人は答えました。

「先生、水が動くとき、私を池の中に入れてくれる人がいません。」

するとイエスは言われました。

「床を取り上げて歩きなさい。」

ご覧なさい。

イエスはその人と議論する必要もありませんでした。

なぜなら、キリストはその人が癒される信仰を持っていることをご存じだったからです。

するとその人は床を取り上げて歩いて行きました。

しかしイエスは、その町でそれ以上誰も癒しませんでした。

そのまま町を出て行かれたのです。

また別のときには、

イエスは一人の人を連れ出して町の外へ行き、

その人と話しながら、

地面につばを吐き、

それで泥を作ってその人の目に塗り、

「シロアムの池で洗いなさい」と言われました。

イエスの前には何千もの人々がいました。

しかしイエスは彼らすべてを癒したわけではありません。

けれども、

90 彼女と一緒にいる方、

彼女に伝えてください。

今、

聞こえ始めています。

(皆さん、頭を下げてください。)

急がなければなりません。

今、

10分過ぎたところだと

言われました。

はい、奥さん。

さて、姉妹よ、

あなたは牧師の奥さんですか？

そうですか。

私の妻も

あなたの気持ちがよく分かるでしょう。

私が家を離れて

働いている間、

妻も

同じような思いをしているからです。

さて、

あなたの状態ですが、

胃の炎症(胃炎)があります。

彼女は…
そうです、
今、聞こえました。
(少し待ってください。)
聞こえますか？
よろしい。
頭を上げて大丈夫です。
もしもう少し
時間があれば、
ここで
もう少し様子を見たいところですが。
彼女は…
聞こえますか？
[テープ欠損]
神が
あなたを祝福して下さいますように。
さあ皆さん、
「主を賛美します」と言いましよう。
皆さん一緒に。
「主を賛美します！」
ではもう一度、
頭を下げてください

御霊がある人のところへ導かれたとき、
その人のために働かれました。
それは、人間的な感情による同情ではありませんでした。
神がイエスを通して語り、
その人のところへ行くよう導かれたからです。
そのとき私は気づきました。
自分が間違ったことをしていたということに。
私は罪を責められ、
そして自分自身を恥じました。
そしてそのことを、
皆さんにも正直に話したのです。
16 それから私は講壇に立ち、こう祈りました。
「神よ、もしこれがあなたの神の御心ではなく、
私が間違ったことをしているのであれば、どうか助けてください。
そしてもしここに連れて来られる人々の中で、
癒されない人が出るならば、
そのとき私は知ることになります。
そしてこれから先、
二度とこのような挑戦をすることはしません。
また、人々を祈りの列に連れて来させたり、
人々が言うような“奇跡の列”を作るようなことも、決してしません。」
するとどうなったか、皆さんは覚えているでしょう。

最初に連れて来られた人が、あの小さな女の子でした。
今日ここに来ているかもしれませんね。
確かカリフォルニアから来た子だったと思います。
その子は耳が遠い状態でした。
私はその子と、あらかじめ少し話をしました。
そして私はその子に手を置きました。
すると私の手に振動が伝わってきました。
おそらく鼓膜が破れていて、
そこに感染が起り、
その上に何か小さなものが成長して覆っていたのでしょう。
それはどこかに命があるため、
振動が感じられたのです。
そしてその振動が止まりました。
そこで私はいつものように言いました。
「さあ、この子は癒されました。」
しかし私はその子に話しかけてみました。
けれども、
どんなに大声で叫んでも、
手を叩いても、
その子は何も聞こえませんでした。
私はその子の手を取り、
もう一度確かめました。

それは
あなたの御力の中にあります。
私の力ではありません。
そして
私の力は
あなたから来るのです。
だから私は祈ります。
この耳の聞こえない霊に対して
力を与えてください。
そして
彼女から追い出すことができますように。
耳を聞こえなくしている悪霊よ、
イエス・キリストの御名によって
この女性から出て行け。
彼女は
聞こえています…
そうだと
私は信じます。
特に
左の耳です。
聞こえますか？
聞こえますか？

この少女の耳を
回復させてください。
父よ、
どうかそれを成してください。
今この瞬間から
彼女が私の声を聞き始め、
癒されますように。
しかし父よ、
私は
あなたの約束を信じています。
あなたは言われました。
「もし人々に
あなたを信じさせることができるなら、
あなたの祈りの前に
立ちただかるものは何もない。」
父よ、
私は信じています。
この耳の聞こえない霊は
彼女から去ると。
それが
今起こるかどうかは
私には分かりません。

すると振動が戻っていました。
私は再びそれを追い出しましたが、
また戻ってきました。
それで私は、
その子をそのままにしておいたのです。
17 次に来たのは、もう一人の耳の遠い男性でした。
私は言いました。
「あなたは信じますか、先生？」
すると彼は大きくなずきました。
私は彼に呼びかけましたが、
彼はただうなずき、頭を下げるだけでした。
それで私は彼の手を取りました。
しかし——
振動はありませんでした。
それは肉体的なものではなく、
御霊の油注ぎによる、純粹に靈的なものでした。
おそらく神経が死んでしまっていたのでしょう。
そして私はその人のために祈りましたが、
私が彼の後ろで手を打っても、
彼には何も聞こえませんでした。
そのとき私は悟りました。
私は罪に定められているのだと。

そしてそのとき、私はこの講壇に立ちながら、
初めて知ったのです。
神なしで人が一人にされるとはどういうことなのかを。
私は完全に無力でした。
友よ、今日、私は皆さんの前で
自分自身を恥じています。
本当に恥じています。
そして私は、このようなことが
ここフェニックスで起こらなければならなかったことを残念に思います。
しかし——
それはどこかで起こらなければならなかったのです。
そうです。
そしてそれが、ここで起こったのです。
18 それから私はそこを離れました。
シャーリット兄弟と私は外へ出ましたが、
私はすっかり疲れ切っていました。
眠ることもできませんでした。
私は飛行機にりましたが、
その中で泣き始めてしまいました。
スチュワーデスがやって来て、
「どうされたのですか？」と尋ねました。
しかし私は、

いつも近くにおられます。
そして今、
この愛らしい若い女性が
癒されるために
ここに來ています。
父よ、
私は信じています。
あなたがここにおられ、
そして
私たちの心のへりくだりを
聞いてくださっていることを。
人々が
病人を、
苦しむ者を、
耳の聞こえない者を、
口のきけない者を、
目の見えない者を
連れて來ます。
しかし主よ、
癒すことができるのは
あなただけです。
どうかお願いです。

心配する必要はありません。
神があなたを祝福してくださいますように。
彼女は
私の声が聞こえると言っています。
確かに
彼女は聞こえています。
[テープ欠損]

89 どうしました、兄弟？
ここに
一人の牧師がおられます。
そして
その姪を連れて来られました。
彼女は
耳が聞こえません。
さて皆さん、
あなた方も知っている通り、
先週の日曜日以来、
私は奇跡を求めてはいません。
では皆さん、
頭を下げてください。
天の父よ、
あなたは

何も言うことができませんでした。
言っても、彼女には理解できないと思ったからです。
飛行機を降りてから、
牧師たちが迎えに来てくれ、私を部屋へ連れて行き、
ベッドに寝かせてくれました。
そして彼らはそばに座り、
私に話しかけ始めました。
その中で、バクスター牧師——
本当にすばらしい神の人ですが——
彼が一人でそっと部屋に入って来ました。
そして言いました。
「ブラナム兄弟、
私ははっきりと言えます。
癒しの賜物はあなたから去ってはいません。
『賜物と召しとは取り消されることがない』と書いてあります。
神はあなたを取り扱われるでしょう。
しかしもし神があなたからその賜物を取り去るなら、
それは神ご自身の約束に反することになります。
だからその賜物があなたから離れることはありません。」
そして彼はこう言いました。
「サムソンは一晚、遊女と共に過ごしました。
しかし翌朝には町の門を持ち上げて歩き去りました。」

そのとおりです。
またダビデも、同じようなことがありました。
そして彼は言いました。
「しかし神はあなたを取り扱われます。」
「モーセは、岩に語りかけるべきだったのに、
それを打ってしまいました。
しかし水は出てきました。
それは事実です。」
けれども彼は言いました。
「神はあなたを取り扱われます。
そしてあなたはそのことのために代価を払うことになるでしょう。
しかし見てください。
賜物はそこにあります。」
けれども私は、どうしても……
そのとき私は、
その賜物がなくなってしまったのではないかと恐れていました。
どこにも、
神を感じるできませんでした。
まったく感じられなかったのです。
そして私は、心から願っています。
これからの生涯で、
あの三日間のような日々を二度と経験することがありませんようにと。

(少女)
「アーメン。」
よろしい。
頭を上げていいですよ、
お嬢さん。
聞こえますか？
私の声が聞こえますか？
(少女)
「アーメン。」
では皆さん、
神を賛美しましょう。
さて姉妹、
彼女はこれから
ひどい頭痛がするでしょう。
一緒にいる方、
そのことを伝えてください。
あなたは
彼女と一緒にいてあげるのですね。
彼女は
頭痛がするでしょう。
でも
それは大丈夫です。

(そのまま頭を下げていてください。)
彼女の聴覚が
戻りつつあります。
今、彼女は
聞いたように見えます。
私が
「聞こえますか」と尋ねたのです。
皆さん、
少し待ってください。
命が戻ってきています。
もし今すぐでなくても、
それでも構いません。
神がすぐにされなくても、
それでも大丈夫です。
神は
時になんて
必ずしてくださいます。
これは
奇跡ではなく、癒しです。
アーメン。
聞こえますか？
「アーメン」と言ってください。

友よ、
あれは地上の地獄でした。
本当に……
そのとき、
神は——
神はそこにおられませんでした。
御使いもいませんでした。
聖霊も……
私は何も持っていなかったのです。
19 (録音欠損)
その振動が私の手に触れているのを感じたとき、
そのとき私がどんな思いだったか、皆さんには分からないでしょう。
私は、あの小さな女の子のために祈る前に、
その賜物がまだそこにあることを知ったのです。
私はもう二度と、そのことで罪を犯すようなことはしません。
私は決して……
そして皆さんのために、できる限りのことをします。
そして私は、できる限り
へりくだって、静かに歩むように努めます。
その小さな女の子は、
耳も聞こえず、口もきけず、さらに結核を患っていました。
(録音欠損)

しかし彼女のために祈ったとき、
 彼女は話すことができるようになり、
 聞くこともできるようになり、
 結核も消え去りました。
 神が彼女を癒されたのです。
 そしてその同じ夜のことで、
 私はその証拠の写真をここに持っています。
 本当は持って来ようと思っていたのですが……
 友よ、申し訳ありません。
 私はとても神経が疲れてしまっていて、
 混乱していたのです。
 その中には、**聾学校(耳と口が不自由な子どもの学校)**の写真があります。
 その学校の先生が、
 生まれつき耳が聞こえず、口もきけない子どもたちを七人連れて来ました。
 その夜、
 そのうち五人が祈りの列に入りました。
 そしてその五人は、
 全員が完全に癒されたと宣言されたのです。
 私はその子どもたちの写真、
 証し、
 そして彼らが家族のもとへ送り返されたときの記録も持っています。
 その五人は皆、

あなたの御心であるなら、父よ、
 あなたのしもべが
 この叱責を発する時、
 サタンが今すぐ彼女から離れ、
 今この瞬間に
 聞こえるようになり、
 話せるようになりますように。
 もしそうでなくても、父よ、
 あなたは私の心をご存じです。
 私たちは信じています。
 彼女が良くなることを。
 ですから私は
 彼女から離れるように命じます。
 イエス・キリストの御名によって。
 アーメン。
 88 では皆さん、
 頭を下げたままでいてください。
 皆さん、どこにいても
 頭を下げたままで。
 主と私に
 この様子を見させてください。
 聞こえますか？

先週オレゴンで…
いや、
アイダホで癒された
あの五人の子どもたちのことを
思い出しています。
あなたは
彼らを癒し、
学校から出して
家に帰らせてくださいました。
医者たちも
彼らを健康だと認め、
愛する家族のもとへ
帰しました。
そして
その愛らしい……
[テープ欠損]
ああ父よ、
どうか今、彼女を憐れんでください。
私は祈ります。
彼女がこの状態から
すぐに回復しますように。
もしそれが

生まれつき耳も聞こえず、口もきけない子どもたちでした。
しかし医者たちによって診断され、
さらにカリフォルニアへ連れて行かれ、
カリフォルニアの医師たちによっても
完全に治ったと認められました。
その五人のことです。
もし何か問題が起こった場合に備えて、
私は法的な証明書や書類もすべて持っています。
オレゴン州の州知事も私の集会に来ました。
そして一昨日の夜には、
アイダホ州の州知事も集会に出席しました。
さらに、その地域の著名な医師たちも来ていました。
それで今、主はそのような形で
再び祝福を注ぎ始めてくださっているのです。
ですから、働きはすばらしく進んでいます。
そして私は本当に感謝しています。
どうか私が二度と、
同じ過ちを犯すことがありませんように。
20 そして今、私は人々に対してこのようにしています。
この二週間で分かったのですが、
このやり方によって、これまでのどの二週間よりも
多くの奇跡が起こりました。

私はただ人々を祈りの列に通し、
その人たちのために祈るのです。
そしてもし、
何かが私の上に臨み、
その人を引き止めるようなことが起こるなら——
おそらくその人の信仰が足りないとか、
何か理由があるのでしょうか。
その人が通るときに、
それが私を止めるのです。
そしてそのとき、
講壇の上で奇跡が起こるのです。
それ以外の場合は、
私はただ神が導かれるままに進むだけです。
人が言うことに従うではありません。
例えば、
「私の母を連れて来ますから、
あなたが彼女を治してください。
彼女は体が不自由で、
もし癒されたら近所の人たちが皆信じるでしょう。」
というようなことです。
しかし私は分かりました。
そのようなことは、

言葉を奪ってしまいました。
しかし私は思います。
彼女が癒されたいと願うのは
何か悪いことのためではありません。
ただ、
彼女のそばに立っている
この人が、
目に涙を浮かべながら
彼女のそばにいて、
彼女が良くなることを
心から願っています。
父よ、
それは
彼女が
学校に戻り、
そして
教会に行って
メッセージを聞き、
神を賛美して
歌うことができるようになるためです。
ああ神よ、
私は今

ああ、メサ(Mesa)ですね。失礼しました、聞き違えていました。メサから来たのですね。彼女はポリオ(小児麻痺)にかかりました。そのために聴覚が麻痺し、そして話すこともできなくなりました。私たちも知っている通り、聞くことと話すことは同じ神経に関係しています。もし私が神にお願いするなら、この女性はこの少女が良くなると信じています。今すぐ耳を開くことも神にはできます。しかしそれは私には分かりません。今すぐ話せるようにすることも神にはできます。けれど私には言えません。もしそれが起こるなら、赤ちゃんのような話し方になるでしょう。はっきり話すことはまだできないでしょう。では、彼女に身振りで聞いてください。彼女が信じているかどうかを。

87 父よ、ここにこの愛らしい小さな少女が立っています。どうか彼女を祝福してください。悪霊が来て彼女の聴覚と

祝福よりもむしろ神の御名にそしりをもたらすことの方が多いのです。そのとおりです。なぜなら、その人自身が最初から信じていないからです。そして多くの場合、人々はそのようなことを利用しようとするのです。ですから私は……もし神がこのことを赦してくださったなら、私はそれを感謝して受け取ります。そして私はもう二度と、そのことで罪を犯すことがないようにしたいのです。

21 そしてこのここ数週間の間、私の集会では、これまでの三か月、四か月、あるいは五か月間よりも、もっと多くの奇跡が起こりました。本当に、もっと多くの奇跡です。そして私たちは、集まってくる群衆を受け入れることさえできないほどでした。もしここに、オレゴンでの集会やその近くの集会に来ていた方がいるなら、きっと分かるでしょう。私たちが使っていたのは、講堂やスケートリンク、パビリオンのような場所でしたが、

それでも毎晩、
 何千人もの人々が入れずに帰らなければならなかったのです。
 そして会場の中にも、
 何千、何万という人々が集められていました。
 そして主は祝福を与え、
 すばらしい御業を行ってくださいました。
 そしてその後、
 さらに多くの人々が癒されています。
 なぜなら私はただ、
 神が私に立つことを望んでおられる場所に立とうとしているからです。
 そして皆さんも、
 このことを理解してくださっていると思います。
 私は……
 皆さんは、
 今私が言っている意味を理解していますか？
 私は、
 人々のための理由や期待に応えるために
 奇跡を行うべきではないのです。
 もし神が、
 ある人のところで私を止められるなら——
 (ここで次の説明に続きます)

22 しかし今、親愛なる友よ、ここに大切なことがあります。

少しの間だけ。

86 父よ、心から祈ります。この少年を癒し、完全に良くしてください。
 イエス・キリストの御名によってお願い申し上げます。
 アーメン。神があなたを祝福してくださいますように、若者よ。
 さて、この方が耳の聞こえないお嬢さんですか？
 彼女は耳が聞こえず、話すこともできないのですか？
 ……？あなたは彼女のお姉さんですか？
 それとも姪ですか？彼女は生まれつきですか？
 そうではなく、後から耳が聞こえなくなり、
 話せなくなったのですね。麻痺が原因で、
 耳も聞こえず、話すこともできなくなった。
 そういうことは起こり得るのです。
 どちらから来ましたか？フェニックスですか？
 ああ、なるほど。先週もこの集会で5人の人が、
 聞こえるようになり、話せるようになって
 家に帰って行きました。もし信仰があるなら…
 もちろん、もし彼女が話し始めるなら、
 赤ちゃんのような話し方になります。わかりますか？
 今のところ彼女から振動はありません。ただ
 麻痺しているのです。神経や声帯の神経が麻痺しているのです。
 ここにいるのは耳が聞こえず、話すこともできない
 若い女性です。彼女はミシガンから来ました。……？

知らせてくれました。
後ろの席にいる人たちが
「ここから祈ってくれば
自分たちは癒されると信じます」
と言っているそうです。
[テープ欠損]
それこそ
神が働く時ではありませんか。
そうです。
では皆さん、
頭を下げてください。
もう少しだけ
何人かのために祈りましょう。
あと10分ほどください。
それから
この会衆全体のために
祈りたいと思います。
皆さん、
それは本当に素晴らしいことです。
キリストは
そのことを喜ばれるでしょう。
では

あの振動は、以前と同じように働いています。
それは神の神聖な賜物なのです。
もし神がそれを私から取り去られるなら、
私は今日の午後、この講壇から降りることさえ望みません。
なぜなら、もし誰かの助けになることができないのなら、
私はここに立ち続けたいとは思わないからです。
それで私は祈りの列を進めていきました。
すると人々は、
神が以前よりもさらに多くの奇跡を行われ始めたのを見るようになりました。
ある人は祈られたあと、
松葉杖をついて席に戻って座っていました。
すると突然、
神の力がその席に座っている人に臨み、
その人は松葉杖を投げ捨て、
建物の中を走り回るようになったのです。
またある人は、
担架の上で横になり、
ひどい麻痺で体が震えていました。
そして祈られてから、
まだ三十分も経っていないうちに、
突然震えが止まり、
その担架から立ち上がったのです。

またある人は家に帰り、
数時間後、夜中に目を覚ますと、
自分が完全に癒されていることに気づきました。
そして次の集会には、
神を賛美しながら戻って来たのです。
分かりますか。
しかしそこには、
人々がしなければならないことがあります。
それは
信じることです。
イエスがマルタとマリアに言われたことを思い出してください。
「石を取りのけなさい。」
つまり、
あなた自身にもしなければならないことがあるのです。
あなたが信じるとき、
神が働いてくださいます。
以前の私は、
その働きをすべて自分ができてしまっていたのです。
しかし今は違います。
あなた自身にもすべきことがあるのです。
あなたが行き、
あなたが信じるなら、

一人ひとりのために祈りたいのです。
ここに並んでいる皆さん、
次の集会には
戻って来られない方々ですね。
もし私が神にお願いするなら、
神を信じてください。
そうすれば
あなたは良くなります。
そうでしょう？
若いお嬢さん、
信じますか？
あなたも
信じますね、姉妹？
もし私が神にお願いするなら、
あなたは良くなると信じますか？
信じますか？
ああ…
この方は耳が聞こえないのですね。
そうですか、
分かりました。
ああ。
今、キッドソン兄弟が

ここにいる中で、
もう戻って来られない方は
どれくらいいますか？
もしそうなら、
少なくとも
祈りの列を通過して
祈りを受けてもらいましょう。
ここに
20人か30人ほど、
戻って来られないと言っている人がいます。

85 この会場の管理の方、
もしよろしければ、
あとほんの数分だけ
お時間をいただけますか。
ここにいる方々のために
祈りをして、祈りの列を通してあげたいのです。
皆さんが
時間を割いてくださっていることに
心から感謝しています。
では皆さん、
少しの間、静かにしててください。
私は

あなたは癒されるのです。

23 そして、ある小さな男の子のことですが……
それは本当に胸を打つ出来事でした。
その子は、脚に**装具(ブレース)**をつけて、
ポリオで足が不自由な状態で祈りの列を通過してきました。
そしてその子は言いました。
「ブラナム兄弟、
僕のために祈ってくれますか？」
私は言いました。
「もちろんだよ。」
その子のお母さんもそばにいました。
そして彼女は言いました。
「ブラナム兄弟、
この子のために祈ってくだされば、それでいいのです。」
私は言いました。
「分かりました、姉妹。」
すると彼女はこう言いました。
「私は奇跡を求めているわけではありません。
ただ、この子のために祈ってくださればそれでいいのです。」
それで私は、その小さな男の子のために
少しの間祈り、手を置きました。
そして、兄弟姉妹よ、

二日後の夜の事です。
私が会場に入る入口のところに、
その男の子が立っていました。
彼の脚の装具は背中に掛けられていました。
そして彼は、
自分の足で立っていたのです。
見てください。
それは母親の単純でへりくだった信仰でした。
彼女はこう理解していたのです。
「私は神を信じることができる。
目立った奇跡を見なくても、
神を信じることができるのです。」

- 24 それから、私の働きは
これまで以上に祝福されたものとなりました。
そういうことなのです。
あの小さな男の子がここに立って、
自分の足を振って見せてくれました。
そして三日後には、
その子はまた戻って来ました。
脚の装具は肩に掛けてぶら下げたまま、
そこに立っていたのです。
そしてそれを持ち上げて見せてくれました。

そのことを証しできますように。
イエス・キリストの御名によって祈ります。
アーメン。
兄弟よ、
私は心から信じています。
あなたは良くなります。
[テープ欠損]
彼は言いました。
「私は信じます。
私は癒されます。」
そうでしょうか？
皆さん、
本当にそう信じますか？
きっと癒されますよね。
では今、
神を賛美しましょう。
よろしい。
頭を下げてください。
兄弟、
あとどれくらい時間がありますか？
ああ、
もう5時ですね。

離れよ。
ほら、あなたの潰瘍は
今去りましたよ、兄弟。
84 父よ、どうかこの兄弟を憐れんでください。
そして数日のうちに、
この町で、あるいは彼がどこへ行っても、
自分の足で歩いている姿が見られますように。
そして
松葉杖を背中に背負って歩きながら、
人々にこう証ししますように。
「私は以前、
背骨を折っていたのです。
しかし
しばらくのうちに癒されました。
今は
すっかり元気です。
なぜなら
イエス・キリストが
私を癒してくださったからです。」
主よ、
どうかそれを成してください。
そしてこの人が

その装具はとても大きく、
その子は装具を付けるために
特別に作った靴まで履いていたのです。
(録音欠損)
それこそが癒しというものです、友よ。
人間にそれほど頼ってはいけません。
あなたの信仰を神に置きなさい。
神は全能の方です。
人に頼っても、
本当の働きは起こりません。
しかし神はあなたを癒すことができます。
ですから、
子どものような単純な信仰を持ちなさい。
「私は良くなる」と信じるのです。
そしてこの小さな祈りが、
神が私にあなたのために祈るようにと言われた祈りだと信じるなら、
あなたが求めたものを受けられるでしょう。
ただ信じるなら、そうなるのです。
25 さて、そのことに関連して、
もう一つ起こったことをお話ししたいと思います。
その週の終わりごろには、
本当にたくさんの人々が集まってきました。

カナダからも、
いろいろな場所から人々が来ていたのです。
そしてその間、私はずっと巡回していて、
フェニックスに戻って来るまで太陽を見ることはありませんでした。
それで私は、太陽を見たとき、
とても嬉しくてどうしてよいか分からないほどでした。
そして私はあるレストランに入りました。
そこで、グレープフルーツが五十セントもしたのです。
半分に切ったグレープフルーツ二つで、
五十セントでした。
それを見て私は言いました。
「これは神の国のようだ。」
なぜなら、ここではグレープフルーツが
木にたくさん実っているのです。
それなのに、
あちらでは一つ五十セントもするのです。
それで私は言いました。
「フェニックスなら、
通りを歩きながらグレープフルーツを
フットボールみたいに蹴って遊べるじゃないか。」
ああ、友よ。
あなた方は世界で一番すばらしい場所に住んでいるのです。

父よ、
あなたこそ
神の癒し主です。
あなたは
すべてのことを
成すことのできるお方です。
神よ、
私は信じます。
この人には信仰があると。
私はそう信じています。
そして彼は
神の御使いの物語と、
その訪れと、
あなたの賜物を
理解していると信じます。
それゆえ、
この人を縛っている
潰瘍という悪霊よ、
この人から出て行け。
イエス・キリストの御名によって
お前に命じる。
彼を

それから
背骨も折れています。
もし私が
神にお願いするなら、
潰瘍が止まったかどうかは
私は分かります。
しかし
背骨の方は
私たちの信仰にかかっています。
それでも
もし私が神にお願いするなら、
あなたは信じますね？
信じますか？
天の父よ、
今ここに
背骨を折ったこの兄弟が立っています。
彼自身も知っています。
あなた以外に
彼が良くなる道は
この世に一つもないことを。
彼はまた
潰瘍でも苦しんでいます。

ただ、もし皆さんが一つになって祈り、
心を合わせるなら——
ここには世界で一番すばらしい教会ができるでしょう。
人々が一つになった、
最高の一致がここに生まれるでしょう。
あなた方は、そのために必要なものを
すべて持っているのです。
少し前に、私はとても疲れて神経も弱っていたので、
シャーリット兄弟が私を車に乗せて、
集会の前に少し連れ出してくれました。
そして私は言いました。
「この場所を見てください。
まるで楽園ではありませんか。
もし皆さんが一つになるなら、
もう千年王国を迎える準備ができているようなものです。」
そうです。
あなた方はもう準備ができているのです。
本当に、
ここはすばらしく、美しい場所です。
26 さて——
先週の金曜日の夜のことで。
私は約束していたとおり、

このフェニックスの集会に来るために
すでに飛行機の予約をしていました。
しかし、その週はずっと
飛行機が飛ばない状態でした。
それで私は言いました。
「バスでサンフランシスコまで行こう。
もしかしたら霧が晴れるかもしれない。」
霧はときどき一時間ほど消えることもありましたが、
またすぐ戻って来るのです。
飛行機は空を旋回し、
着陸できる機会を待っていました。
そしてようやくチャンスができたときに、
サンフランシスコへ降りるのです。
しかし、そこもひどい霧でした。
それで私は言いました。
「バスで行こう。」
しかしそのころには、
私はもうとても弱っていました。
そしてそのとき、
癒しの賜物が働き始めていたのです。
だから私は今、はっきり分かっています。
このままでは、

そしてあなたも知っているでしょう。
私は神に、奇跡を求めないと約束していることを。
信仰だけです。
しかし私は今、
あなたにも振動があるのを見ます。
そうです。
それを感じます。
さて考えてみてください。
私がそれを知る方法など
本来あるのでしょうか？
この世の中に
そんな方法は一つもありません。
ただ一つ、
全能の神による以外には。
そうでしょうか？
さあ、見てください。
あなたには
潰瘍があります。
そして
とても神経質になっています。
非常に
神経が張りつめています。

分かってきました。

[テープ欠損]

ええ、

もちろんできます。

ああ、

主を賛美します。

見てください、

彼は今、歩いています。

さあ皆さん、

「主を賛美します」と言いましょう。

もう一度、

「主を賛美します」と言いましょう。

皆さん一緒に、

「主を賛美します！」

では皆さん、

もう一度、頭を下げてください。

[テープ欠損]

83 兄弟よ、

あなたもとてもつらい状態ですね。

今、

心から信じますか？

たとえどうであれ…

どこかで少し休まなければならない。

そうでなければ、私の働きは長く続かない。

27 人々は私の前を通り過ぎていきました。

彼らは私に手を置くこともなく、

私も彼らに手を置くことはありませんでした。

ただ私の前を通り過ぎていただけでした。

しかし、そのとき、

癒しが起こるたびに

大きな力が私から流れ出ていくのを感じました。

それは、人々が信じていたからです。

私は彼らのために祈る必要さえありませんでした。

彼らの信仰が伸びてきて、それを受け取ったのです。

私が祈っているときと同じように、

その信仰が働いていたのです。

しかしそのために、

祈りの列の最後の夜には、

私はすっかり弱りきってしまいました。

その夜だけで、

およそ三千人が私の前を通り過ぎました。

三千人です。

そしてついに私は

床に倒れてしまいました。

二人の男性が私の腕を抱え、
私を持ち上げて
ドアのところまで運びました。
そのとき、
多くの霊が人々から出て行き、
別の人の中に入ることもありました。
ある女性は、
正気を失ってしまいました。
彼女は祈りのとき、
主に心を向けていなければならなかったのに、
隣に座っていた女性と話していて、
そちらに気を取られてしまいました。
そして私が祈っている最中に振り向いて
その女性と話そうとしたとき、
狂気の霊が彼女に入ってしまったのです。
私はその哀れな魂を、
そのままにしておくしかありませんでした。
彼女は今もまだ正気を失ったままです。
また、
てんかんの霊が
ある人から別の人へ移るようなことも
何度も起こりました。

今日が、
彼の手足に
再び命が戻り始める日となりますように。
そしてこの
麻痺が彼から去りますように。
この祝福を
神の聖なる御子、
イエス・キリストの御名によって
祈ります。
アーメン。
[テープ欠損]
82 ……それは
彼の体から来ているものです。
あなたは
事故か何かに遭いましたか？
今月に入って
起こったことですか？
そうですか。
神があなたを祝福してくださいますように。
さて、
ここで少し…
私は今

どうか
私の祈りを聞いてください。
彼のそばに
愛する小さな奥さんが立っています。
神よ、
彼女が
どんな思いで
彼を見つめていることでしょう。
そして彼も
彼女を見つめています。
そして通りでは
他の若い夫婦たちが歩いている。
神よ、
どうか憐れんでください。
どうか
彼がこの状態から回復しますように。
神よ、
それをしてくださいますか。
あなたは
耳の聞こえない者を聞こえるようにし、
口のきけない者を語らせるお方です。
ですから私は祈ります。

そして……(次の証しへ続きます)
28 それから私はドアの外へ出て、
バス停へ向かいました。
するとリンゼー兄弟や、
何人かの牧師たちが言いました。
「ブラナム兄弟、
そんな状態では出発してはいけません。」
しかし私は言いました。
「私はフェニックスへ戻りたいのです。」
そして言いました。
「こんなことが起こったのです。
天の父が私にもう一度の機会を与えてくださったことを、
皆さんに伝えに行きたいのです。」
「私はそれを伝えたいのです。」
すると彼らは言いました。
「いや、あなたは行けません。」
ある婦人が言いました。
「私が車で送っていきます。」
しかし私は言いました。
「いいえ、奥さん。
私はバスで行きます。」
それで私はそこで降ろしてもらい、

バスを待つことにしました。
サンフランシスコまでの
チケットを買いました。
そして座って待っていましたが、
バスはすでに三時間遅れでした。
霧がひどくて、
ほとんど何も見えないほどでした。
テーブルに座っていると、
私はあまりに神経が疲れきっていて、
再び人間の感覚を越えた状態に入ってしまいました。
人々は
私が眠っているのだと思いました。
それから彼らは私をバスに乗せました。
そして私が気がついたときには、
バスは夜中の
一時か二時ごろになっていました。
しかし運転手は
それ以上進むことができませんでした。
山を越えることが
できなかつたのです。
そこでその夜は
そこで止まらなければなりませんでした。

頭を下げてください。
ここにいる
この兄弟のために祈ります。
彼は
麻痺しています。
愛する父よ、
私は
この人から来る振動を感じています。
しかし彼は
麻痺しています。
神よ、
何かが起こって
体の下の部分の神経が
死んでしまったのです。
しかし主よ、
その神経に
再び命を与えることができるのは
あなただけです。
そして
この状態を
彼から取り去ることができるのも
あなただけです。

私の妻から電話がありました。
だから
その気持ちはよく分かるのです。
あなたたちは
幸せに一緒に生きたい。
そして私は
あなたたちが幸せになることを
心から願っています。
もし彼が良くなるなら、
あなたは一生の間
キリストに仕えますか？
ただ
もし主が彼を良くしてくださるなら。
そして今、
たとえ
それがすぐに起こらなかったとしても、
必ずなされると
信じなければなりません。
そうですね？
はい、奥さん。
それでいいです。

81 では皆さん、

そのために私は、
フェニックスへ行く計画から
完全に外れてしまったのです。
29 それから私は家へ戻りました。
そこへ行ってみると、
自分の体が
とても早く衰えているのを感じ始めました。
しかしそのあと、
四十四時間ほどで
私はまた普通の状態に戻りました。
そのことが起こったとき、
私ははじめて、
自分がどれほど弱っていたのか、
また自分の体がどれほど消耗していたのかを
本当に知ったのです。
それ以来、
私はずっと弱さと疲れを感じるようになりました。
それでも私は
この集会に来たいと思ったのです。
そして今、
再びフェニックスへ戻ってきました。
病んでいるあなたがたのために祈るためにです。

皆さん、
私の言っていることを
理解して下さるでしょう？
分かったださいますね。
そしてどうか、
心から私を信じてください。
これらの病んでいる人々が
この前を通るとき、
彼らは良くなるのです。
あなたがたは
ただ信じればよいのです。
もしあなたがここを通るなら、
あなたの信仰が
その癒しの賜物に手を伸ばしてつかみ取り、
そして
あなたは癒されるのです。
皆さん、
それを信じますか？
もしそれが働くならば、
どんな形でも働くのです。
それからもう一つ、
聞いてください。

そして
8日か10日ほど経ったころ、
彼女は
車椅子から立ち上がり、
通りを歩いていました。
もしその神が
あの女性を癒すことができたのなら、
あなたも
癒されると信じますか？
もし私が
主イエスにお願いするなら、
あなたが良くなると
信じますか？
この方は
あなたの奥さんですね？
……？
あなたたちは
一緒に幸せに生きたいのですね。
それは分かります。
兄弟よ、
あなたの気持ちはよく分かります。
少し前に

……？
今のところ
そこから振動は見えません。
さて、
あなたを助けることができるのは
ただ一つのことだけです。
少し前に
ここへ来た一人の女性がいました。
彼女の背骨が…
出産のときに
脊椎麻酔を受けたのですが、
それが原因で
何か問題が起こり、
腰から下の神経が
すべて麻痺してしまったのです。
出産のために
受けた麻酔でした。
その結果、
腰から下は完全に麻痺し、
感覚もなく、
歩くこともできませんでした。
私は彼女のために祈りました。

ここフェニックスの
愛する皆さん。
私はあなたがた一人一人に
お願いしたいのです。
それぞれの牧師のところへ行って、
こう言ってください。
「フェニックスで
合同リバイバル集会を開きましょう。」
皆さん、
それができると思いませんか？
合同リバイバルをして、
すべての人が救われ、
そして神のために生きるようになる。
それができると思いませんか？
もちろんできます。
ただ信じるならば。
信仰を持って
神を信じてください。
神はそれを
なさりたいのです。
もし神が来てくださるときに、
この小さなフェニックスが

その御業の中から
取り残されてしまうとしたら、
私はそれを思うと
本当に悲しく思います。

30 さて、先ほど読んだ聖書の箇所にもう一度戻りましょう。
私が途中で止めたところからです。
皆さんはヨシユアのことを覚えていますね。
聖書全体を通して見ると、
イスラエルの子らが歩んだ旅は
最後の時代を象徴しているのです。
そうですね。
さて、私はあなたがたに
こう話しました。
イスラエルの子らの旅には
三つの段階がありました。
そうですね？
彼らは
三つの段階の旅をしました。
そして教会もまた、
今や第三の段階に来ているのです。
そうでしょう？

これから
良くなっていきます。
おそらく
1日から15日くらいの間で
完全によくなるでしょう。
そう伝えてください。
しばらくすると
彼女はきっと…
もし彼女が
そのことを忘れてしまうことができれば、
それで大丈夫です。
彼女に言ってください。
「もう気にしないで、
そのまま生活していきなさい。」
そして
いつもイエスに仕えて生きなさい
と伝えてください。
神が
彼女を祝福してくださいますように。
よろしいです。

80 あなたは
脇のあたりに手を当てていましたね。

どうかお願いです。

あのしるしを

私に与えてください。

そうすれば

私は彼女に伝えます。

そして

もし彼女が信じるなら、

彼女は良くなります。

そうでしょう、主よ。

79 サタンよ、

彼女から出て行け。

イエス・キリストの御名によって命じる。

彼女を離れよ。

ヨセフ兄弟、彼女に…

では、

彼女に説明してください。

今から

完全によくなるまで、少し日数がかかります。

でももう

その振動は去りました。

彼女は

大丈夫です。

思い出してください。

彼らは

新しい地の証拠を持って

帰って来ました。

そして今、

あなたがたが立っているのは

まさにその場所なのです。

しかし……

教会の多くの人々は

それを信じることができませんでした。

彼らは混乱に陥り、

再び荒野へ戻ってしまったのです。

そしてそこで

人々は病気になり始めました。

そこで現れたのが

青銅の蛇でした。

それは

教会に与えられた賜物を

象徴しているのです。

そうですね？

ペンテコステについて考えてください。

ペンテコステの教会が

多くのグループに分かれてしまい、
あなたがた
フル・ゴスペルの人々の間にも
分裂が起きました。
そしてそのときから、
あなたがたの中に病気が入り込むようになったのです。
(テープ欠落)

- 31 さて、このシリーズを終える前に
もう一つだけ気づいてほしいことがあります。
これまで話してきた
影と象徴(影と型)は、
今のこの時代にまで
ずっと続いてきています。
もしそれが影と型であったなら、
その本体もまた
必ず成就しなければならないのです。
ですから、皆さんが
よく理解できるように話します。
特に、ここにおられる牧師の方々には
ぜひ理解していただきたい。
覚えていてください。
イスラエルの民を導いた

奇跡です。
けれども父よ、
たとえ
少しずつ回復させてくださるとしても、
それもまた
奇跡なのです。
彼女は
良くなりたいたいのです。
医者
薬を与えました。
彼女も
それを試しました。
しかし父よ、
どうやらこの可哀そうな人は
信仰をしっかり持つことができないようです。
彼女は
神経質になっており、
それが
この腹部の病を引き起こしています。
(いわゆる…)
[テープ欠損]
父よ、

一人の年老いた、弱い人間が立っています。
彼女は
この胃の病で苦しんでいます。
父よ、
私は彼女の言葉では
話すことができません。
だから彼女に
この潰瘍は乾いていかなければならない、
ということを
説明することができません。
それには
数日かかるでしょう。
もし主が
直接手を差し伸べて
それを取り去り、
払いのけてしまわれなければ。
しかし父よ、
あなたにはそれをなさる力があります。
あなたは
新しい胃を造ることさえできるお方です。
ああ父よ、
それは確かに

彼らの指導者モーセは、
常に
今日のキリストの御霊の型でした。
そうですね？
しかし
モーセは民をヨルダン川の向こうへ
導くことはありませんでした。
そこに
新しい秩序が現れました。
そうでしょう？
モーセは
民をヨルダン川の向こうへ
連れて行きませんでした。
教会の管理者のような存在でした。
しかし
ヨシユアが民を渡らせたのです。
そうですね？
そして皆さん、よく聞いてください。
私たちの大きな組織(組織教会)も
教会をヨルダンの向こうへ
連れて行くことはできません。
覚えていてください。

ヨシュアが
その場面に登場しました。
分かりますか？
神は
九つの霊的賜物を
教会に送られるのです。
それが
教会を一つにまとめ、
そして教会は
ヨルダンを渡るのです。
覚えていますか。
神はヨシュアに
こう言われました。
「立ち上がれ。
さあ、このヨルダンを渡ろう。」
私は思います。
教会の歴史の中で
もしその声が語られる時があるなら、
それは今です。
「立ち上がれ。
今、ヨルダンを渡る時だ。」
その通りです。

彼女の手の振動によってです。
そうすれば
彼女が信仰を持つ助けになるでしょう。
(通訳)
「彼女は信じています」
と言っています。
78 よろしい。
では、頭を下げてください。
(あとどれくらい時間がありますか？
ああ、もう5時ですね。
あと5分あります。
それから…
皆さんを時間通りに帰してあげると
約束していますから。)
では、
少しの間だけ。
愛する父よ、
あなたは
私たちの心をご存じです。
そして
私たちの神であられるお方です。
ここに

大丈夫になります。

はい。

あなたは英語を話せますか？

いいえ？

では、

彼女に伝えてください。

私が

何が問題なのか知っていることを

分かるように伝えてください。

彼女に言ってください。

彼女の胃が痛んでいると。

そう伝えてください。

「Mucho」

“Mucho”は

「とても」「たくさん」

という意味です。

分かりますか？

彼女は

胃潰瘍です。

そして

彼女に伝えてください。

私がそれを知ることができたのは、

教会は

あらゆることを通ってきました。

そして今、

多くの宗派に分かれ、

分裂してしまっています。

これが

この件についての

私の最後の言葉です。

私は本当に

一生懸命に

伝えようとしてきました。

32 私は……

フェニックスを愛しています。

私は

あなたがたのことを愛しています。

私は、

すべての人が

一つの心、

一つの思いで

いるのを見たいのです。

できることなら、

ここに来て

ここを自分の家のようにして、
毎週日曜日の午後に
礼拝を続けていきたい。
そしてそれを
イエスが来られるその日まで
続けたいのです。
しかし、
私は一人ではそれをする事ができません。
だから
私の見ている幻をあなたがたに話します。
今こそ
教会の時なのです。
今の教会は
互いに一致していません。
分かりますか。
互いに同意し合うことができないのです。
しかし今は、
あなたがた、信徒たちが
互いに一致する時です。
教会そのものが
一致する時なのです。
そしてこれこそが、

その血の塊を取り除くことができるのは
あなただけです。
父よ、
どうかそれをしてくださいませんか。
どうか
それを成してください。
これは
サタンの仕業です。
しかし主よ、
あなたは
この姉妹を解放するために
ここにおられます。
サタンよ、
神の御子イエス・キリストの御名によって
お前に命じる。
この女を
離れよ。
主が
彼女を祝福して下さいますように。
それも
止まりました。
彼女は

心から感謝します。

では皆さん、

もう一度、少しの間

頭を下げてください。

77 あなたは

かなり具合が悪かったですね。

そうでしょう？

では、

彼女に聞いてください。

もし今、

心から信じるなら、

彼女は良くなります。

ここにいる母親たち、

出血の病に苦しんでいる方々…

愛する父よ、

私は知っています。

サタンが罠を仕掛けたことを。

そして今、

私たちのこの姉妹は

脳出血を起こして

この世を去ろうとしている。

しかし、

教会の中に来つつある賜物の働き方です。

それは

両側から人々を引き寄せます。

しかしそれは

人々を自分の教会から引き離すものではありません。

いいえ。

あなたは

自分の教会へ行き続けてください。

あなたの教会は

良い教会です。

あなたの組織も

問題ありません。

私はそれに

何も反対していません。

しかし兄弟よ、

自分が誰かより少しでも優れているなどと

決して思っはいけません。

また、

誰かが自分より低いなどと

思ってもいけません。

覚えておいてください。

私たちは皆、

神の前では同じ立場にあるのです。

私たちは

神の息子、

神の娘なのです。

そしてもし私たちが

神の息子、娘であるなら、

そのように

行い、

そのように

語り、

そのように

生き、

そして本当に

神の息子、娘として

生きていこうではありませんか。

33 さて、

今これらの賜物こそが

それを成し遂げているのです。

分かりますか。

仕組みが変わったのです。

教会は

マルティン・ルターの時代以来ずっと

そのまま歩いて行きなさい。

もう

良くなっています。

神が

あなたを祝福してくださいますように。

私の愛する兄弟。

どうぞ

そのまま階段を降りて行きなさい。

もう

心配する必要はありません。

さあ皆さん、

顔を上げて大丈夫です。

(もうだいふ慣れてきましたね。)

主を賛美しましょう。

あの兄弟は

「私は神を賛美しています」と言いました。

私は

あなたに会えてうれしい。

そして何より

彼がイエスに出会ったことを

私たちは喜んでいます。

そのことを

私は知っています。

そして

私の祈りも聞いてくださることを

知っています。

だから私は知っています。

あなたが彼を癒してくださることを。

76 それゆえ、サタンよ、

私はイエス・キリストの御名によって

お前に立ち向かう。

神の油注がれた僕として、

私は

イエスの御名によって命じる。

この人から

出て行け。

彼を離れよ。

そうです。

神はあなたの涙をご覧になりました。

あなたの

信仰もご覧になりました。

そして今、

あなたは神の力に触れられたのです。

ですから

世界を導いてきました。

そうでしょう？

しかし今、

教会時代は終わりに近づいています。

その通りです。

それは

モーセの部分なのです。

それは終わりに向かっています。

なぜなら、

モーセが神に対して

失敗したように、

教会もまた

神に対して失敗してきたからです。

ここで言っているのは

宗派のことです。

わかりますか？

私が言っていることを

理解できていると思う人は

どれくらいいますか？

ありがとう、皆さん。

聞いてください。

サタンは時々

私にこうささやきます。
「彼らは分かっている」
と。
しかし私は知っています。
あなたがたは理解している。
そうです。
それは失敗したのです。
教会は失敗しました。
なぜなら
こんなところまで来てしまったからです。
もしあなたが
メソジストでなければ
中に入れない。
もしあなたが
バプテストでなければ
中に入れない。
もしあなたが
アッセンブリーズ・オブ・ゴッドに
属していなければ
中に入れない。
もしあなたが
ワンネスに

サタンが彼を
弱らせ、縛りつけ、苦しめています。
神よ、
彼はまるで
牢屋の中に閉じ込められているようです。
しかし主よ、
この牢から彼を解放できるのは
あなただけです。
彼を癒すことができるのは
あなたしかおられません。
そして彼はこう言いました。
「私は
心からイエスを信じています。
そして
イエスがあなたをここに遣わしたと
信じています。」
神よ、
それは
彼があなたを愛しているという
なんという証しでしょう。
父よ、
あなたが彼の祈りを聞いてくださることを

そのせいで

眠れなくなることもある。

喉で

咳き込んだり、ひどくむせたりする。

そうでしょうか？

さて、

私がそれを知る方法は一つしかありません。

それは

神によってです。

そうでしょうか？

私がそれを知ることができるのは

その方法だけです。

ですから兄弟、

信仰を持って信じてください。

(その兄弟がブラナム兄弟に話しかける)

ああ、

ありがとうございます、兄弟。

そう言うくださるとは、

とても親切ですね。

天の父よ、

今、ここに

この兄弟が来ています。

属していなければ

中に入れない。

もしあなたが

このグループでも

あのグループでもなければ、

中に入れない。

34 教会は失敗してしまいました。

分かりますか。

人々を

一つの体として集める代わりに、

教会は

人々を分裂させてしまったのです。

ちょうどモーセが

岩に向かって語る代わりに

岩を打ってしまったようにです。

分かりますか。

そのため

それは失敗しました。

ですから

教会は決して

人々をヨルダンの向こうへ

導くことはできません。

その通りです。
しかし今、
神はご自分の秩序を変えられました。
そして神は
再び何かを送ろうとしておられます。
よく覚えておいてください。
この世界に向かって
大いなる人々が現れようとしています。
その通りです。
大いなる力が
この世界へと来ようとしています。
そしてそれは
ある民が
別の民を呼び出す働きになるでしょう。
覚えていますね。
「わが民よ、
彼女から出て来なさい。」
そうでしょうか？
それは
バビロンです。
つまり
混乱です。

今、神の御手に触れられたところです。
さあ皆さん、
神の癒しの御業のために
「神を賛美しましょう」
と言いましょ。う。
アーメン。
75 はい、そうです。
あなたを見ていると分かります。
いくつか体の具合が悪いところがありますね。
この胸の焼けるような感じ、
それはこのあたりですか？
このあたり…
胸の上の方でしょうか？
ああ、
もっと下の方ですか。
ここですね。
そうですか。
そして私は
リウマチも見えます。
それから……
咳もありますね？
かなり咳き込むでしょう？

そして
その通りになりましたね、姉妹？
そうでしょう？
ですから
分かるでしょう。
ここに
二人の女性がいます。
一人は
心臓の癌を持っていて
まだ祈られていなかった人。
もう一人は
結腸と肝臓の癌でした。
そして
ここにいるのは、
たった今祈られた
シカゴから来た女性です。
姉妹たちが
互いに語り合っているのを見るのは
なんと素晴らしいことでしょう。
一人は
すでに癒されて健康になり、
もう一人は

しかしここで言っているのは
人々そのものではありません。
あなたがたに
教会から出なさい
と言っているわけではありません。
そうではなく、
あなたがたの間にある
その混乱から出なさい
ということです。
分かりますか。
そこから出て、
一つの心、
一つの思い、
一つの一致の中で
神に仕えようではありませんか。
そうでしょう？
そのとき
神は
ご自分の教会を
ヨルダンの向こうへ
導かれるのです。
それは

死を越えることです。

今、

あなたがたは

心からそれを信じますか？

35 私はここで

ちょうどこれを読んでいました。

皆さんのうち、どれくらいの人が

これを持っていますか？

そうですね、分かっています。

あなたがたはまだ

「ヘラルド・オブ・トゥルース」を

持っていませんね。

あの兄弟姉妹はどこにおられますか？

あなたがたは

まだこれを発行していませんね？

これは

新しい号の

「ヘラルド・オブ・トゥルース」です。

そして私は

この中を見ていたのですが、

今年の

今月号の中に

決して

そんなことに心を向けてはいけません。

ただ

信じることを心に決めておきなさい。

それは

反応なのです。

(癒しの後に起こる)

反応なのです。

シカゴから来た姉妹、

ちよつとこちらを向いてください。

振り向いてください。

ウォールドロップ姉妹、

立ってもらえますか？

この姉妹は、

約8か月前、あるいは2年前、

私の祈りの列で

心臓と結腸と肝臓の病で死んだ状態でした。

そうでしたね、

ウォールドロップ姉妹？

私は

「具合が悪くなる時が来ますよ」

と言いました。

すべてが彼女から離れました。
神があなたを祝福されますように、姉妹。
あなたのお名前は？
ミセス……[テープ欠損]
神の祝福がありますように。
さあ、
神を賛美しましょう。
シカゴから、
ここフェニックス(アリゾナ)まで
はるばる来られたのです。
アーメン。

74 見てください。

シカゴから来たあの姉妹です。
いいですか、
これから数日のうちに、少し具合が悪くなることもあるかもしれません。
けれども、
それを気にしてはいけません。
分かりますか？
気分が悪くなったり、
胃の調子が悪くなるかもしれません。
でも
それを気にしてはいけません。

私たちのことが載っています。
先日の夜、
私はちょっとした出来事がありました。
私の妻がですね……
私があそこで
疲れきって倒れてしまった
ということを知ったとき、
そのかわいそうな人は
ほとんど
胸が張り裂けそうだったのです。
彼女も
とても疲れています。
実は……
私の妻は
とても控えめな人で、
私は
彼女に写真を撮らせることが
どうしてもできなかったのです。
でも今回ついに
写真を撮ってくれて、
それを
私のところへ送ってくれました。

先ほども
少し電話で話していたのですが……
そして
私の小さな娘、
まだ二十か月ですが、
電話の向こうで
私のために祈ってくれました。
ああ、
その小さな心に
神の祝福がありますように。
娘はこう言ったのです。
「イエス様、
パパを助けてください。」
「イエス様、
パパが家に帰れるようにしてください。」
そして今月号には
私たちの写真が
載っています。
私と妻、
それから私の秘書である
コックス兄弟と
コックス姉妹の写真です。

どうか彼女を癒してください。
サタンよ……
[テープ欠損]
この癌よ、
その命そのものに対して、
私はあなたに立ち向かう。
[テープ欠損]
神の御子、
イエス・キリストの御名によって。
あなたに命じる。
彼女を離れよ。
イエス・キリスト、
神の御子の御名によって、
彼女から出て行け。
完全に消えましたね。
見ましたか？
それは、母よ、
あなたがまだ生きるというしるしです。
そしてあなたは
シカゴへ戻り、神の証しをするでしょう。
皆さん、
頭を上げてください。

あの白い斑点が
動いていくのが見えるでしょう。

よく見てください。

[テープ欠損]

何か…

感じますか…

[テープ欠損]

73 彼女は癌を患っています。

主よ、彼女を癒すことができるのは、あなただけです。

彼女はシカゴからはるばるここまで来ました。

[テープ欠損]

愛する神よ、もしあなたが……

[テープ欠損]

そして彼女は、

もしあなたのしもべがスタジアムに遣わされるなら、

そこへ行って、

神の癒しの力を証ししますと約束しました。

あなたこそ、

この悪霊を彼女の体から取り去ることのできる

唯一のお方です。

それゆえ、愛する神よ、

心からお願い申し上げます。

あの二人は

本当に素晴らしい人たちです。

36 この中に

一つの証しが載っているのですが、

その一部を

少しだけ読んでみたいと思います。

それは

ある女性の証しです。

多くの立派な医者たちが

診ていましたが、

彼女は

神経がすっかり衰弱してしまい、

ついには

正気を失ってしまいました。

彼女は

まるで小さな……

(テープ欠落)

写真を見ることができますが、

彼女は

ただの

愛らしい小さな女性

という感じの人でした。

しかし神は
その場で彼女を完全に癒されたのです。
彼女は
何か月も何か月も
ベッドに横たわったままでしたが、
そのとき
ベッドから起き上がり、
そして
パジャマのまま歩き出したのです。
それまでの彼女は、
近づくことさえ
できないほどでした。
体中が
血でいっぱい、
すべてが
ひどい状態だったのです。
しかしその瞬間、
彼女は
静かに落ち着き、
パジャマ姿のまま、
小さなスリッパを履いて
ソーダファウンテンまで歩いて行き、

一生涯神に仕えますか？
では皆さん、
とても静かに、敬虔な心でいてください。
ここに
一人の女性がいます。
彼女は
何百マイルも旅をして、
いや何千マイルも旅をして、
ここへ来ました。
癌を抱えて
シカゴから来たのです。
さて姉妹、
あなたは今
私の手を見えていますね。
見えますか？
私の手に出てくる
あの斑点が、
手のあちこちに
現れたり消えたりしているのが。
では
よく見ていてください。
私が祈るとき、

いつかあの美しい街、
シカゴを訪れる予定です。
今のところ、
5月ごろ、
または2月の終わりごろに、
あそこの
スタジアムで集会をする予定です。
まだ確定ではありませんが。
もし私がそこへ行ったら、
そのとき
この演壇に来て
証しをしてくれますか？
私がどこで集会をしていても、
その場所で
証しをしてくれますか？
そうしてくれますか？
そうですか。
では、
もし今
神があなたを癒してくださるなら、
あなたは
神を愛し、

私と一緒に
ソーダを飲んだのです。
すると
あちらこちらから
人々が集まってきて、
彼女を見ようとしていました。
(テープ欠落)

37 ここに
もう一つの証しがあります。
それを
読んでみたいと思います。
今、
あと十五分ほどありますので、
その間に
いくつかの証しを
皆さんにお話しして、
それから
病んでいる方々のために祈る時間を
取りたいと思います。
少し前のことですが、
あの集会の中で……
皆さん、

「アズサ・ニュース」を
読んだことがありますか？
「アズサ・ニュース」を
取っている人はいますか？
そうですか。
では、
「ジョーンズボロ・イブニング・サン」
という新聞を
読んだことがありますか？
そこに
大きな記事が
掲載されたのです。
「アズサ・ニュース」の中にも
書かれていましたが、
私が
カリフォルニアへ飛ぶことになり、
そして
「ジョーンズボロ・サン」にも
飛行機でエルドラドへ向かう
という記事が載りました。
それは
癌で死にかけている人のための祈りでした。

起こったことを
見ましたね。
では
喜びながら帰りなさい。
何も
疑わないでください。
あなたは
今、良くなります。
ああ…
皆さん、
神に賛美をささげましょう。
彼女はこう言いました。
「私はここに来たら
きっと癒されると
ずっと分かっていた。」
神がこの小さなお母さんを
祝福しますように。
72 ああ、
また癌のケースですね。
奥さん、
シカゴから来たのですか？
私は

主よ、
彼女を癒してくださいますか。
そして今、
あなたの僕の声に
力を与えてください。
この癌を
彼女から追い出すことができるように。
悪霊よ、
私は
神の油注がれた賜物として
お前に立ち向かう。
そして
イエス・キリストの御名によって
お前に命じる。
この女性から
出て行け。
ナザレのイエス・キリストの御名によって
命じる。
彼女から
離れよ。
お母さん、
今ここで

誰か
それを
「アズサ・ニュース」で
読んだ人はいますか？
そのとき
私はそこで
集会をしていました。
その集会で、
一人の牧師が
壇上に立っていました。
そして彼の首には
大きな癌の塊が
ぶら下がっていたのです。
おそらく
これくらいの大きさでした。
医者たちは
こう言いました。
「もう助かる見込みはない。」
その場には
記者たちもいて、
写真を撮るために
カメラのフラッシュが

光っていました。
そのときです。
その癌が
白く変わり、
首から
ぼろりと落ちて、
私の足元へ
転がってきたのです。
私は
その癌を
今でもアルコールの中に保存しています。
彼の首には
大きな穴が残りました。
その写真が
新聞にも掲載されています。
そしてもう一人の人がいました。
その人は
何年もの間
車椅子に座ったままでした。
体は
このように曲がってしまい、
椅子に縛られたような状態で

おおキリストよ、
どうか
あなたを信じることができるよう
助けてください。
ただ
あなたの御言葉を受け取らせてください。
そしてこの
恐ろしい癌の悪霊、
黒い霊。
彼女は
無力です、父よ。
医者たちにも
力がありません。
しかしあなたは
この霊の上に力を持っておられます。
父よ、
私はこの女性を
あなたのもとへ導きます。
この
ふさわしくない手を通して
彼女を
あなたのところへ導きます。

この手は
洗濯桶の中で
長い一日を何度も過ごしてきた手でしょう。
生活のために働き、
家族を養い、
小さな子供たちを
育ててきたのでしょう。
子供たちが泣いたとき、
この手ほど
涙をぬぐい、
小さな頬に喜びを取り戻してくれる手は
この世にありません。
しかし今、父よ、
その手が
私の手の上に置かれています。
この手には今、
別の手の触れが必要です。
それは
カルバリで傷つけられた
あの御手です。
その御手は
惜しみなく与えてくださいます。

座っていました。
その人は
バプテスト教会の執事でした。
しかしその瞬間、
彼は
車椅子から立ち上がり、
そして建物の中を歩き回りながら
神をほめたたえたのです。
38 それから私は
小さなセスナ機で
エルドラドへ飛びました。
そこには
一人の若い女性がいました。
とても貧しい家庭の人で、
その女性は
いつ死んでもおかしくない状態だったのです。
彼女は
生まれてからずっと
ポリオの後遺症で体が不自由でした。
年齢は
二十八か三十歳くらいでした。
そして癌は

繊維性の癌になっており、
体中に
広がっていました。
飛行機が着陸して
私が入って行ったとき、
私は
その医者と話しました。
人々が
私を迎えに来て、
家の中へ
案内してくれました。
すると医者が
こう言いました。
彼は
彼女の体から
四ポンドから六ポンドほどの癌を
切り取ったそうです。
それは
体の表面に
広がっていた部分でした。
そして
彼女の体を縫い合わせました。

私は
キリストをお願いして
あなたを良くしていただこうと思います。
そして
あなたが
心から信じるなら、
あなたの命は
これから何年も延ばされるでしょう。
それを
信じますか？
信じますか？
71 天の父よ、
この可哀そうな年老いたお母さんが
私の手に自分の手を置いています。
その手は
しわだらけになっています。
父よ、
私は今
遠く離れたところにいる
自分の年老いた母のことを
思っています。
疑いなく

もし
あなたが信じるなら—
ほかの人たちは
癒されました。
しかし
私が祈るすべての人が
癒されるわけではありません。
そうではありません。
多くの方は
亡くなります、お母さん。
多くの方が
そうです。
しかし
これからどうなるかは、
すぐに決まります。
あなたは
すぐに良くなるか、
それともすぐに亡くなるか
どちらかです。
でも
あなたは
良くなりたいのですね。

ところが
二週間もたたないうちに、
それ以上の癌が
また
生えてきたのです。
まったく
希望はありませんでした。
本当に
何の望みもなかったのです。
そして家族は
そのことを
彼女には知らせないようにしていました。
それで
私は行ったのです。
そのことは
私は決して忘れません。
もしかしたら
これは
皆さんの中の何人かには
それほど大きな意味を
持たないかもしれません。
しかし

もしそれが
あなたのお母さんだったら。
もしそれが
あなたの娘だったら。
そう考えてみてください。
私にとっては
とても大きなことなのです。
なぜなら私は
これらすべてのことについて
裁きの座で答えなければならないからです。
そしてついさっき、
私は
昨夜
この女性の夢を見たのです。
そして先ほど
この小さな雑誌
「ヘラルド・オブ・トゥルース」を
手に取って、
そこに
彼女の証しが載っているのを
読んだのです。
そしてそれが

妻と二人の小さな子供もいます。
彼らも
私のために祈っています。
教会の人々も
祈っています。
そして
全国のあちこちで
何千人もの人が
私のために祈っています。
だからこそ私は
このように
ここに立ってられるのです、姉妹。
どこでも
何千、何万という人が
祈ってくれています。
そして
イエスはその祈りを聞いてくださいます。
あなたには
癌があります。
それは
ご存じですね？
さて、

さて、お母さん。
もちろん
あなたも分かっているでしょう。
あなたの残された日々は
あまり長くないのです。
もう
できることは
あまり残っていません。
でも
あなたは生きたいのですね。
私も生きたい。
私たちは皆
生きたいのです、お母さん。
泣かないでください。
さあ…
聞いてください。
私には
家に年老いた母がいます。
もしまだ生きているなら、
今日も
私のために祈ってくれているでしょう。
私には

ちょうど今
このように話している内容と
一致しているのです。
まるで
不思議な一致のようでした。
39 それから私は
その家の前に立ちました。
エルドラドにある
小さな、質素な白いコテージでした。
中へ入ろうとすると、
家族の人たちが
庭に座っていて、
みんな
私が来るのを
じっと見ながら待っていました。
私は家の中に入り、
家族を集めました。
そして尋ねました。
「彼女は
自分の病気のことを
知っていますか？」
すると彼らは言いました。

「いいえ、
彼女には言わないでください、ブラナム兄弟。」
私は言いました。
「それは約束できません。
分かりますね。」
すると彼らは言いました。
「これまで
一度も知らせていないのです。」
そこで私は言いました。
「まず最初に
聞きたいことがあります。
皆さんは信仰を持っていますか？」
すると彼らは言いました。
「ええ、
他の人たちが癒された話は
聞いています……」
そこに
年老いた父親が立っていました。
古い青いシャツを着ていて、
とても大きな体の人でした。
そして
彼はただ

命(働き)が、
今
取り去られたのです。
ですから
それは
これから
回復し始めます。
もし
心から信じるなら—
見てください、
あなたの信仰が
あなたを救うのです。
信じますか？
そうですか。
神があなたを祝福します。
それなら
あなたは良くなります。
70 構いません…
下に
かなり人がいるのですか？
え？
ああ、分かりました。

何かにつけて
洗っていましたか？
エプソムソルトなど
使ってましたか？
いいえ、
特に何もしていないのですね。
では
よく見ていてください。
その潰瘍のところが
だんだん乾いてきます。
そして
その周りが
まるで
何か薬を塗ったように
治っていくのに
気づくようになります。
わかりますか？
しかし
それは
神が癒されたのです。
あの中にあって
病原菌や感染を起こしていた

泣いていたのです。
私は言いました。
「お父さん、
泣かないでください。」
「泣かないでください。」
「それでは
信仰が揺らいでしまいます。」
私は言いました。
「あなたは
信じなければなりません。」
「今、
あなたの娘のために必要なことは
すべて満たされていると
信じなければならないのです。」
それから私は尋ねました。
「あなたは
クリスチャンですか？」
すると彼は言いました。
「ブラナム兄弟、
この家族の中で
クリスチャンはこの娘だけです。」
彼は言いました。

「私たちは
きっとあまりにも
悪い人間なんでしょう。」
そしてこう言いました。
「だから神様は
彼女を私たちから
取り去ろうとしているのです。」
「私たちが
クリスチャンではないからです。」
そのとき私は
気づきました。
神が私に与えてくださった機会に。
分かりますか。
神が与えてくださった機会を
決して逃してはいけません。
40 そこには
小さな台所の中に
十五人か十八人ほどの人たちが
立っていました。
私は尋ねました。
「皆さん、
親戚の方ですか？」

あなたは良くなると
信じますか？
姉妹、
どちらに住んでいますか？
アリゾナ州マイアミですか。
ああ、そうですか。
私は確か
あなたの地域に
招かれていると思います。
もし
そこへ行くことになったら、
あなたは
このことについて
証しをして
人々に話してくれますか？
そうしてくれますか？
そうですか。
では、
よく聞いてください。
あと数日のうちに
気づくようになります。
これまで

この女性を
何年もの間縛ってきた
悪霊よ、
私は
お前に立ち向かう。
[テープ欠損]
イエス・キリストの御名によって
命じる。
[テープ欠損]
69 小さな姉妹よ、
頭を上げてください。
今、
私の手の周りで
何かが起こりました。
私の手の色が
変わりましたね。
そうでしょう？
今、起こったことが
しるしです。
[テープ欠損]
今、
心から信じますか？

「はい。」と答えました。
それで私は言いました。
「この中で
クリスチャンの方はいますか？」
すると
一人だけが
キリスト教会 (Church of Jesus Christ)の
メンバーでした。
それが
この人たちの中で
クリスチャンとして
言えるもののすべてでした。
それで私は言いました。
「では
こうしていただけますか。」
「もし神が
この娘を生かしてくださるなら、」
「皆さん一人一人が
悔い改め、」
「クリスチャンとなり、
バプテスマを受けると
神に約束できますか？」

すると
その場にいた人たちは
皆そろって言いました。
「神がそうしてくださるなら、
私たちはそうします。」
それから私は
外へ出ました。
そして言いました。
「私が戻ってきたら、
この娘に何が起こったか
皆さんにお話しします。」
41 私はその部屋に入りました。
誰も中に入れずにです。
かわいそうに、
その女性はベッドに横たわっていました。
医者の話では
彼女の命は
あと数日、
二、三日ほどしかない
と言われていました。
というのも
彼女の状態は

ご存じです。
それをできるのは
あなただけです。
だからこそ私たちは
心の奥底から
あなたに語りかけているのです。
父よ、
私は信じています。
この女性は
あなたの証しとなるでしょう。
彼女の小さな人生が
あなたにささげられ、
あなたが彼女を用いて
自分の民に
この傷が何年もあったこと、
そして癒されたことを
証しするようにされるでしょう。
父よ、
どうか
私の祈りを聞いてください。
あなたの御子
イエスの栄光のために。

彼らは
処方箋を書き、
さまざまな治療法を
試したことでしょう。
父よ、
この小さな女性を
助けるために、
彼らは
できることをすべてしてきました。
父よ、
彼女もまた
自分にできることは
すべてしてきました。
そして今、
彼女は
私のところへ来ました。
そして私は
自分にできることを
すべてしています。
しかし今、父よ、
あなたは
それをどうするかを

急速に悪くなっていたからです。
私が部屋に入ると
彼女は言いました。
「あなたが
ブラナム兄弟ですね。」
私は言いました。
「はい、そうです。」
彼女の体の横には
まだ傷が開いたままで、
癌を取り除いた場所が
まったく癒えていませんでした。
そして体は
ひどく腫れ上がっていました。
大量の肉が
切り取られていたのです。
繊維性の癌というのは
分かりますね。
それは
体中に広がり、
肉がどんどん増殖していく
ようなものです。
彼女は言いました。

「あなたが
ブラナム兄弟ですね。」
私は言いました。
「はい。」
彼女は言いました。
「ブラナム兄弟、
あなたは人々の病気を
言い当てることができると
聞きました。」
その瞬間、
私は何が起ころうとしているのか
分かりました。
私は言いました。
「はい、
神の助けと憐れみによって
そうすることができます。」
すると彼女は言いました。
「ブラナム兄弟、
私の病気を教えてください。」
「みんな
教えてくれないのです。」
彼女は言いました。

信じますか？
そして
生涯、神に仕えますか？
イエスを愛し、
イエスに仕えますか？
そうしますか？
本当に
そうしますか？
68 では今、
頭を垂れてください。
ここに
一人の小さなスペイン人の女性が立っています。
彼女は
長年、開いた傷を抱えています。
それは
足から流れ出ている潰瘍です。
父よ、
疑いなく
多くの医者たちが
その足を
自分たちの手に取り、
涙を流したことでしょう。

そこには
何かがあつて、
それが
その腐敗を
いつも流れ出させているのです。
分かりますか？
それは
足の下の方ですか？
それとも…
ああ、
足首のところですね。
ところで、
あなたは何歳ですか？
二十歳ですか。
では若いお嬢さん、
もし私が
心から神にお願いすれば、
それが
乾いていき、
そして
癒されて
完全に良くなると

「あなたが
ここへ来られた理由も
分かっています。」
(テープ欠落)
「すべての罪は
隠されてはいません。」
私は言いました。
「はい、その通りです。」
彼女は言いました。
「ブラナム兄弟、
どうか私に正直に話してください。」
(テープ欠落)
「もし私が
癒されるなら……」
私は
彼女の手を取りました。
そして言いました。
「はい、
癌です。」
(テープ欠落)
彼女は言いました。
「やはりそうでしたね、

ブラナム兄弟。」
(テープ欠落)
私は続けて言いました。
「それだけではありません。」
「あなたの医者も、
さっき台所で話していましたが、」
「あなたの命は
あと二、三日だろう
と言っています。」
すると彼女は言いました。
「一つだけ
私が確かなことがあります。」
(テープ欠落)
「私の魂と
救い主との間には
何も隔てるものはありません。」
それは
どんなことよりも
尊いことです。
私は言いました。
「その通りです。」
彼女は言いました。

けがをしましたか？
それが
潰瘍になってしまったのですね。
そうですか。
どうして
そうなったのか分からないのですね。
そうですか。
見てください、
振動が出ています。
それは
潰瘍です。
姉妹、
それは
どれくらい前からありますか？
十三年も続いているのですか。
ずっと
出続けているのですね。
では、
もし私が
主イエスにお願いすれば、
あなたは
信じますか？

67 皆さん、
「主をほめたたえよ！」
と言いましょ。う。
彼女は
周りを見回して、
私が言っている意味が分かったように
にっこり微笑みました。
さあ皆さん、
もう一度言いましょ。う。
「主をほめたたえよ！」
ああ、
主イエスはなんと素晴らしいお方でしょう。
本当に
素晴らしい癒し主ではありませんか。
では今、
もう一度、
しばらくの間
静かに頭を垂れてください。
はい、姉妹。
それはどうして
そうなったのですか？
どこかで

「賛美を
歌いましょ。う。」
そして彼女は言いました。
「私は
家族を導こうと
してきましたが……」
「それが
できませんでした。」
それで私は言いました。
「もしかしたら
今がその機会なのかもしれません。」
「みんな
あなたをととても愛しています。」
「そしてさっき
皆さんは約束しました。」
「もしあなたが良くなったら
神に仕えと。」
(テープ欠落)
「そう、
皆そう言ったのです。」
42 そしてそのとき、友よ……
覚えておいてください。

私もいつの日か
この世を去る時が来ます。
そのとき、
あの御使いが語ったことが起こりました。
そして
その瞬間、私はそれを感じたのです。
私はひざまずき、
彼女のために祈りました。
すると
あの振動が止まりました。
私は言いました。
「姉妹よ、
あなたは良くなります。」
すると彼女は言いました。
「ブラナム兄弟、
私に何が起こったのか
分かりません。」
「でも……
ただ一つ分かることがあります。」
「私はまた良くなると
分かるのです。」
私は言いました。

頭を垂れたままです。
振動は
彼女の手から
消えたようです。
それが
彼女に何をしたのか
まだ分かりません。
では、若い女性、
あなたが彼女に
伝えてください。
私が言ったように
右足をこうして上げてみなさいと。
今度は
私について歩くように言ってください。
何も疑わないように
伝えてください。
そのまま私について歩くように。
さあ、歩いてください。
では皆さん、
頭を上げてください。
ここまで
歩いてきてください。

そして私は感じています。
あなたは
彼女たちの国、
メキシコで
素晴らしい集会を与えてくださるでしょう。
父よ、
今日この女性が
健康になって
この建物を出て行くことができますように。
それが
あなたの御心であるなら、
どうかそれを
かなえてください。
私は
イエス・キリストの御名によって
彼女のためをお願いしています。
この女性を
リウマチで縛っている悪霊よ、
イエス・キリストの御名によって命じる。
彼女から
出て行け。
皆さん、

「そうです。
あなたは良くなります。」
それから私は
部屋を出ました。
台所では
家族の人たちが
皆泣いていました。
私は
ドアを閉めて外に出ました。
すると彼らは言いました。
「ブラナム兄弟、
どうだったのですか？」
私は言いました。
「主はこう言われる。
その娘は生きる。」
すると
かわいそうなお父さんは
その場で泣き崩れました。
そして今、
その証しが
この新聞に
書かれているのです。

ここにありますが。
彼女は
私の言葉を
そのまま引用しています。
「イエス・キリストは昨日も今日も、いつまでも変わることはない方です。
そしてこの終わりの時代にも、
主は奇跡を行っておられます。
1947年5月16日、
医者たちは私に手術が必要だと判断しました。
手術をすると、
激しい癌が見つかりました。
この町の最も優れた医者たちでさえ、
ただ一つ言えることは、
私の命は長くない
ということだけでした。
しかし友よ、
神がそこに来てくださいました。
ブラナム兄弟は
アーカンソー州ジョーンズボロから
飛行機でここに来てくださり、
私のために祈ってくださいました。
主は

父よ、
私は
彼女と話すことができません。
彼女は
私の祈りを聞くことも、
理解することもできません。
しかし父よ、
あなたは理解しておられます。
あなたは
すべての言語を理解し、
すべての言語を語るができるお方です。
どうか神よ、
彼女の心の中で
私が心から彼女のために
取り成していることを
知らせてください。
父よ、
今日
このリウマチから
彼女を解放してください。
父よ、
それを成してください。

よく眠ることです。

体が弱っていますから、

体力を回復させてください。

では皆さん、

主をほめたたえましょう。

66 信じますか？

英語を話せますか？

(通訳に向かって)

あなたは英語を話せますか？

彼女に聞いてください。

神が彼女を癒してくださると信じますかと。

では今、

皆さんどこにいても

頭を垂れてください。

天の父よ、

あなたはここにおられ、

病人を再び健康にするお方です。

ここに

この可哀そうな

年老いたスペイン人のお母さんが立っています。

彼女は

リウマチで体が曲がってしまっています。

その瞬間に

癌の菌を殺し、

私の体を癒してくださいました。

私の体を癒してくださったこと、

そして祈るために

ブラナム兄弟を送ってくださったことを、

私はどれほど感謝しても

感謝しきれません。」

— ラディ・マイリック

(Laddie Myrick)

アーカンソー州エルドラド

クック通り西325

もしよければ

彼女に手紙を書いてみてください。

考えてみてください。

あの女性は

最も優れた医者たちが診ても

助からないと言った癌でした。

それは

奇跡でした。

彼女自身も

それを奇跡として受け取りました。

しかし
完全に回復するまでには
数週間かかりました。
私は彼女に
こう言ったのです。
「その癌の菌は
もう死んでいる。」
彼女は
それを信じました。
そして
その通りになったのです。
皆さんも
同じように信じることが
できませんか？

43 さて、
もう一つだけ、
私の心を励ましてくれたことがあります。
それは
これを読んだときでした。
それは
カナダの一人の母親からのものです。
では皆さん、

結核の振動が
私の手に現れていましたが、
今は
そのすべてが消えました。
一つ残らず
消えました。
ですから
あなたは今
行ってよいのです。
あなたは
私の手を見ていましたね。
それが
変わったのに
気づきましたね。
もう大丈夫です。
家に帰れば
回復し始め、
すぐに
体重も増えてきます。
良い食べ物を
しっかり食べてください。
そして

私の手は白く戻っていますね？
さっきまで
赤くなって
点々と斑点が出ていましたが、
私は
そこを指していました。
そうでしょう？
今は
白く戻っています。
私は
手を同じ位置に
置いたままでしたね。
そうでしょう？
何が起こったのでしょうか？
それは
あなたが元気になって
家へ帰るといふことです。
そうです、青年。
では皆さん、
頭を上げてください。
ここに立っている
スペイン語を話す青年のために祈りました。

よく聞いてください。
この小さな記事を
読みます。
その後
祈りをして、
癒しの集会に入ります。
タイトルは
「すべてのことは可能です」
これは
カナダの一人の母親から
ウィリアム・ブラナム師へ
謙虚に献げられたものです。
そのとき
神は彼女を癒されました。
神の祝福が
彼女にありますように。
私は
その人たちのことを
決して忘れません。
そして
あの小さな歌、
「All Things Are Possible

(すべてのことは可能です)」
その歌は
今では
あちらこちらで
聞くことができます。
ある人は言いました。
母親が
赤ちゃんを揺りかごで
あやしているとき、
その母親が
その歌を歌っているのを聞くと。
また
通りでも
人々が歌っています。
仕事をしているときも
人々が歌っています。
「すべてのことは可能です。」
そして今、
カナダでは
海岸から海岸まで
リバイバルが広がっています。
かつて

そしてこの青年が
強く立派な若者となり、
[テープ欠損]
自分の民の中で
大きな証しとなるようにしてください。
父よ、
それを成してください。
そして
今日この日から
体重が増え始めますように。
サタンよ、
結核の悪霊よ、
私は
イエス・キリストの御名によって
お前に立ち向かう。
この少年から
出て行け。
イエス・キリストの御名によって
彼から離れよ。
65 さて、青年よ、
私が頭を上げて
自分の手を見る前に、

あなたはこの青年を創造し、
この地に生まれさせてくださいました。
彼はまだ若く、
あなたの御国のために
大きな意味を持つ存在となるはずの人です。
今日、多くの若者が
道を踏み外しています。
しかしこの青年は
あなたに仕えたいと願っています。
それなのに
サタンが彼を縛っています。
しかし今、
あなたは彼を
癒そうとしておられます。
[テープ欠損]
彼は今日、
かつてイスラエルの子らが
青銅の蛇を仰ぎ見たように、
見て生きるために
ここへ来ました。
父よ、
彼を助けてください。

閉じられてしまった
小さな教会が、
今では
再び開かれているのです。
宣教師や伝道者たちが
その地へ出て行き、
働きを始め、
そこには
大きな霊的な動きが起こっています。
友よ、
それこそ
私たちに必要なものでは
ありませんか。
44 では、よく聞いてください。
主よ、
あなたが選ばれた人々がいます。
この罪の世から
呼び出された人々です。
行くようにと言われれば行き、
とどまれと言われればとどまる、
主人が呼ばれるままに
従う人々です。

あなたは
心の清い者を選び、
あなたに従う者たちを
選ばれます。
そして主よ、
あなたは彼らに
この世の誰にも与えることのできない
尊い賜物を
与えてくださいます。
天の父よ、
私たちはあなたを
心から愛しています。
あなたは
御使いを送ってくださいました。
その御使いは
甘美なメッセージを携えて来て、
こう約束しました。
「一人の者に
冠が与えられる。」
御使いは言いました。
「私はあなたに
神の癒しの賜物を与える。」

私の手を見てください。
ここに
小さな斑点が出ているのが
わかりますか？
こちらの手も見てください。
違いが
わかりますね？
神は確かに
あなた方スペイン語を話す人々を顧みておられます。
あなたは
スペイン語を話す人ですね？
多くの人が
すでに癒されています。
私は
数週間のうちに
あなたの国、メキシコへ行く予定です。
あなたが
証し人になることを願っています。
青年よ、
神に仕えますか？
そうしますね。
天の父よ、

立てていただきました。
そのことを
私たちは感謝します。
どうかこの働きが
これからも
続いていきますように。
あなたの御子
イエス・キリストの御名によって
祈ります。
アーメン。

64 いろいろと
どうもありがとうございます。
よろしい。
では、彼を先に入れてください。
さて、
この子は…
はい、青年よ。
英語はわかりますか？
分かるのですね。
あなたは
結核を患っています。
では

「あなたは行って
人々に信じるように
告げるか？」
「そうすれば
この約束は
あなたのものとなる。」
すると彼は言いました。
「はい、主よ。
私は最善を尽くします。」
彼は
恵みの御座の前にひざまずき、
こう言いました。
「主よ、
すべてのことが可能であることを
私は知っています。」
「あなたの御心のとおりに
私はそれを行います。」
「主よ、
あなたが行けと言われる所へ
私は行きます。」
「あなたが望まれる者に
私はなります。」

「私は
口のきけない者のために祈り、
彼らは語るようになるでしょう。」
「私は
目の見えない者のために祈り、
彼らは見るようになるでしょう。」
(テープ欠落)
ただ
主からの一度の触れを
受けるために。
人々は
歩道に列を作り、
ただ一目でも
主を見るために
並びます。
病んでいる人々が
北から南から
連れて来られます。
ある者は
足の不自由な者、
またある者は
担がれて

私が祈ってきた
すべての人々に
再び会うことができますように。
キリストよ、
それをかなえてください。
私はあなたに
心から感謝します。
父よ、
心のすべてをもって感謝します。
そして今、
これからも
私と共にいてくださり、
病人を癒し続けてください。
私たちの医者たちは
ある限られた力の中でしか
働くことができません。
しかし父よ、
あなたの力は
限りがありません。
あなたは
人々のために
癒しの角(力)を

あなたは今日、
ご自身の御言葉によって、
あなたが
あなたの僕を顧みてくださり、
また二週間前に私がした
愚かなことを
赦して下さったことを
証ししてくださいました。
愛する父よ、
どうか私が
いつもあなたの前で
へりくだって歩むことができますように。
そして私が生きている限り、
あなたに仕えさせてください。
父よ、
たとえ疲れることがあっても、
私は
働き続けようとしています。
そしていつの日か
この人生が終わるとき、
父よ、
あなたの御座の前に集まる時、

癒されるために来ます。
(テープ欠落)
ああ、尊い御使いよ……
この子から
悪霊を追い出してください。
そうすれば
この子は自由になります。
ああ、主イエス、
救い主よ。
どうか
あなたのものを守り、
祝福してください。
(テープ欠落)
あなたが愛しておられる
あなたの僕を
祝福してください。
あなたの力によって
彼を強め、
罪から守り、
そして
あの祝福された時まで
導いてください。

45 天の父よ、
私にこのような
へりくだった特権を与えてくださったことを
感謝いたします。
主よ、
誰かが信じてくれたことを
感謝いたします。
そして
あなたの御使いが
愛をもって与えてくださったこのことを、
またそれを
詩として書き表してくれた
この尊い人のことを思い、
私は祈ります。
父よ、
どうか私を
いつもへりくだった者として
保ってください。
そして今日、
口のきけない者が語り、
盲人が見えるようになりますように。
そして

この耳は聞こえませんでした。
では、
これを聞いてください。
ここに
私の手を置きます。
オイエ？
オイエ？
オイエ？
これは
ささやき声です。
今、聞いてください。
彼は
スペイン語で答えています。
オイエ？
(聞こえるか？)
63 では今、
神に感謝の祈りをささげたいと思います。
天の父よ、
あの人は
生まれたときから耳が聞こえませんでした。
しかし今、
彼は聞くことができます。

イエス・キリストの御名によって
お前に立ち向かう。
この人から
出て行け。
出て行け、
イエス・キリストの御名によって。
この人の耳を
聞こえなくし、
腎臓の苦しみを
もたらしている悪霊よ、
この人から離れよ。
皆さん、
そのまま頭を垂れていてください。
今、
弱くなってきています。
聞こえますか？
では
頭を上げてください。
その耳は
どれくらい前から
聞こえなかったのですか？
生まれたときから

あの悪霊に取りつかれている子どもから
その悪霊が追い出されますように。
主よ、
私はただ
あなたからの一度の触れを
求めています。
あなたが
近くに立っておられることを
知るために。
父よ、
私は知っています。
すべての悪霊は
あなたに従うものです。
あなたの大いなる力が
私たちの近くにあるなら、
何ものも
立ち向かうことはできません。
そして父よ、
今日このフェニックスにいる
すべての人を
癒してくださるよう祈ります。
この会堂で、

今日ここにいる人々を。
なぜなら
この場所こそが、
人の声ではなく
神に聞き従うことを
あなたが私に教えてくださった場所だからです。
ああ父よ、
どうか私を助けてください。
もう二度と、
あなたを悲しませるようなことを
しないように。
主よ、
先週の日曜日、
あるいはその前の日曜日、
あなたが私を
厳しく戒められたように、
どうか今日の日曜日は
私にとって大きな祝福の日と
なりますように。
この会堂で
あなたの民が
癒されるのを見ることができるよう。

私を赦してくださり、
今
私はあなたの御心の中にいる
と感じています。
どうか
私の祈りを聞いてください。
父よ、
私は
奇跡を求めているわけではありません。
しかし
ここにいる人々の前で、
あなたの僕が
不信仰に挑んだ罪を赦されたことを
彼らが知るために、
どうかこの人の耳を
今すぐ開いてください。
そうすれば人々は
あなたがキリストであること、
そして私が
赦されたあなたの僕であることを
知るでしょう。
悪霊よ、

また
一緒に働いている人々の間で、
あなたの証しとなる人に
してください。
彼が会うすべての人の前で、
あなたを表す者となりますように。
かつてあなたが
肉体をもってこの地におられた時、
人々がそうであったように。
父よ、
どうかこの兄弟に
それを与えてください。
そして主よ、
この祭壇で
最後に私が祈った
耳の聞こえない人のとき、
私は
あなたの御心の外にいた
と感じています。
しかし父よ、
今日あなたに感謝します。
あなたが

今日、父よ、
それをかなえてくださるよう
祈ります。
御子イエス・キリストの御名によって
お願い致します。
アーメン。
46 (ブラナム兄弟が祈る前に、
一人の兄弟が語った。)
私がこの働きに入ってから
もうすぐ三十四年になります。
その間、
何百人、何百人という
さまざまな信仰の説教者、
そして私たち自身の信仰、
ペンテコステの信仰の説教者たちを
見てきました。
しかし私は
今まで一度も、
ブラナム兄弟ほど
日々へりくだりを現している人に
会ったことがありません。
この働きの重さは

彼の命そのものを
押しつぶそうとするほどです。
皆さんは
闇の力と戦うことが
どういうことなのかを
十分には理解していません。
敵のすべての力が
彼に向けて
解き放たれているのです。
あなたがたが受けているのは
おそらく
そのほんの一部にすぎません。
覚えておいてください。
イエスが十字架で
あれほど苦しまれたのは、
ご自身の罪のためではなく、
地獄の力が
彼を押しつぶそうとしたからです。
ですから、
もしあなたが
神から特別なものを受けているなら、
闇の力は

彼の耳の一つは
聞こえません。
また
腎臓の病気もあり、
腎臓の苦しみを
抱えています。
では
少し待ってください。
皆さん、
静かに、敬虔な心でいてください。

62 永遠の神よ、
永遠のいのちの創始者であり、
すべての良き賜物を与えてくださるお方よ。
父よ、私は今、
この兄弟のために
あなたの御前で恵みを見いだそうとしています。
彼は苦しんでいます。
私は彼を知りません。
しかしあなたは
彼を知っておられます。
父よ、どうか
彼が住んでいる地域で、

ほら、
今こうして
手を置くと…
[テープ欠損]
このように
圧力がかかっています。
見えますか？
もちろん、
あなたの場所からは
その斑点までは見えないでしょう。
ここから
手の違いが見える人はいますか？
手を上げてみてください。
ええ、
見えますね。
では
バルコニーの方々はどうですか？
二つの手の違いが
見えますか？
さて、
これは
最初の耳の聞こえないケースです。

あなたを押しつぶそうと
全力を尽くすでしょう。
それで今日の午後は、
どうか
最善を尽くして神を信じてください。
あなたがたは
ブラナム兄弟が話したことを
聞きました。
では今、
神がここにおられ、
癒してくださると信じる人は
どれくらいいますか？
信じる人は
手を挙げてみてください。
神があなたを
祝福します。
それで十分です。
必要なのは信仰だけです。
ですから
へりくだって
信じてください。
すぐに戻ってきます。

今、
入口のところに
癌で死にかけている人が
運ばれて来ています。
ブラナム兄弟は
今その人のために祈るため
少し外へ出ています。
その間に
祈りの列を整えます。
キッド兄弟、
どうぞ祈りの列を
始めてください。
皆さん
よく聞いてください。
そうすれば
どうすればよいか
分かるでしょう。
私は
案内係の方々の名前を
すべて知っているわけではありませんが、
先ほどここにいた
案内係の方、

彼を
不信者の中での証しとしてください。
私はこの悪霊を
イエス・キリストの御名によって叱責する。
ほら、
今止まりました。
兄弟、
すべての振動が
去りました。
神があなたを祝福します。
これから
あなたの地域で
神の証し人となってください。
61 [テープ欠損]
この人は、先週の日曜日から
耳が聞こえなくなっています。
さて、
ここに振動があります。
よく見てください。
私の手が…
[テープ欠損]
このように見えます。

私はこの人に
何が悪いのかを
直接告げることができました。
彼がそれを見た今、
どうして疑うことができるでしょうか。
しかし今、
あなたはここにおられ、
彼を癒すことができます。
父よ、
どうか今この瞬間から、
彼がもう苦しまないようにしてください。
すべての病が
彼から去りますように。
そして彼が
自分の住む場所へ帰ったとき、
働いている仲間たちに
あなたの大いなる力を語るようにしてください。
それを聞いた誰かが
また来て癒され、
そして
あなたに心をささげるようにしてください。
主よ、

私が
「ここから五十マイル以上離れた所から来て
三回以上の集会に出席している人」
と尋ねたとき、
手を挙げた人たちがいました。
もしよければ
その人たちを先に
祈りの列に入れてください。
五十マイル以上離れた所から来て、
三回以上の集会に出席している人たちです。
しかし皆さん、
どうか
このことを利用しようとししないでください。
もしそうするなら、
こういうことが
起こるかもしれません。
病気がそのまま残るか、
あるいは別のものが来るかもしれません。
覚えておいてください。
あなたがたは
私たちとだけ関わっているではありません。
私たちは

できるだけ公平に
皆さんに接したいと思っています。
なぜこう言うのかというと、
人々が
それを利用しようとするのが
あるからです。
少し例を
お話ししましょう。
ブラナム兄弟は
すぐ戻って来ます。
(テープ欠落)
もし
この指示に従わないなら、
私たちの働きを妨げてしまいます。
ですからどうか、
できるだけ
従順に、
そして礼儀正しく
してください。
そうしないと、
あなた自身も
他の誰かも、

そうでしょうか？
では今、
心から信じますか？
それが止まると。
見てください。
これらのことを
私が知ることができる唯一の方法は、
ここで
神がそれを示してくださるからです。
あなたは
何も言いませんでしたね。
天の父よ、
あなたは
すべてをご存じです。
どうか来て
この兄弟に
憐れみをお与えください。
彼は今
苦しんでいます。
父よ、
あなたの霊と
あなたの恵みによって、

協力の広告を
見ましたよ。
それは
本当に良いことです。
あなたは
フォークナー兄弟ですね？
ありがとうございます、兄弟。
60 あなたは信じますか、兄弟。
私が神に願えば、
それがあなたから去ると。
あなたには
他にも少し問題がありますが、
一番大きな問題はそれですね。
そうでしょう。
そこに
神経の損傷のようなものが
あるようです。
そうですね？
そして
こちらの耳、
それから
腎臓にも問題があります。

祝福の機会を失うことになります。
どうか、
呼ばれるまでは
立ち上がったり、
祈りの列に並んだりしないでください。
覚えておいてください。
ブラナム兄弟が祈っている間、
皆さんは頭を垂れ、
できるだけ
へりくだった心で
いてください。
47 では、
頭を垂れて祈りましょう。
天の父よ、
今この集会のために
祈ります。
愛するイエスよ、
二週間の不在の後、
今日再びこの壇上に
立つことができたことを感謝します。
そしてここには、
癒されたいと願う

愛する人々が
立っています。
父よ、私は
できるだけへりくだって
あなたの祝福は
もし彼らが信じるなら与えられる
ということ
彼らに伝えようとしてきました。
主よ、
彼らを癒すのは
彼ら自身の信仰です。
それが
そこにあると信じる
その信仰なのです。
そして今、
ここを通過して来る
一人一人が、
あなたの神の力に触れられますように。
そして今、
あなたの御使いが
すぐ近くに立っておられるのを
感じながら祈ります。

ここに来て、
祈ってもらえる時を
待っていたのですか？
そうですか。
それなら姉妹、
今は
喜びながら家に帰ってください。
あなたは癒されました。
神が
あなたを祝福します。
皆さん、
言いましょう。
「主をほめたたえよ！」
素晴らしいことです。
このことのために
神に賛美と栄光がありますように。
この女性は
スーペリアから来ています。
アリゾナの
どのあたりですか？
グローブの方ですね。
あなたが新聞に出していた

消えてしまいましたね。
そうですね？
そのとき
あなたの呼吸も
楽になったのです。
この女性は
ここアリゾナ州の方です。
そして
私が手を見たとき、
赤くなって
白い斑点が出ていた手が、
すっかり白く戻っていました。
そうでしょう？
見てください。
私は
この女性を知りません。
人生で一度も会ったことがありません。
今日は
ここに来るのは
初めてですか？
(女性が答える)
毎週日曜日

ああ神よ、
どうか
一人一人を祝福し、
彼らが癒されますように。
イエス・キリストの御名によって
祈ります。
アーメン。
48 姉妹よ、
心から信じますか？
天の父よ、
この姉妹が
この恐ろしい悪しき霊によって
苦しめられているのを
見ておられます。
しかし父よ、
あなたは今
彼女を解放するために
近くにおられます。
どうか
彼女が癒されますように。
それをかなえてください、父よ。
この女性を縛っている

悪霊よ、
イエス・キリストの御名によって命じる。
彼女から出て行け。
さあ、そこです……
すべてがきれいに去りました。
これで
あなたは良くなるでしょう。
姉妹よ、
このリウマチは
どれくらい前からですか？
何も疑ってはいけません。
疑いませんね？
あなたは
神に仕えたいのですね？
父よ、
単純な信仰をもって
この姉妹は今日
ここに来ました。
リウマチで
体は不自由になり、
また
高血圧や多くの痛みにも

止まりましたね？
もう
何も感じませんね。
そして見てください。
私の手は白く戻っています。
今、あなたは
私が病人のために祈るときに感じる
その振動の反応を
実際に体験したのです。
59 では今、
ここで少し
証しをしてもらいたいと思います。
あなたにとってその感じは、
まるで
電気が通っているレールに
手を置いたような感じで、
震えるような感覚でしたね。
そうでしょうか？
そして私が祈っている間、
それが
跳ねるように動き始め、
それから突然

この手のように
普通の状態に戻ります。
あなたは
それを感じて分かるでしょう。
今見てください。
その感覚が去るとき、
私の手は
普通の状態に戻ります。
父よ、
この姉妹のために祈ります。
どうか彼女を癒してください。
悪霊よ、
生ける神の御子
イエス・キリストの御名によって命じる。
この女性から
出て行け。
もう
感じませんか？
私の手を
見てください。
皆さん、
もう頭を上げてよいですよ。

苦しんでいます。
父よ、
彼女の体は
弱りきっています。
しかしあなたは、
あの夜
部屋に御使いを送られ、
この働きを
人々に伝えるよう
私に語られました。
神よ、
どうか今、
彼女の信仰が
その賜物に手を伸ばして
それを受け取りますように。
サタンよ、
お前は
この姉妹を縛ってきた。
しかし今、
イエス・キリストの御名によって
彼女から出て行くよう命じる。
姉妹よ、

あまりにも早く
それが止まったので、
私は
あなたに奇跡が起こったと
信じています。
もう
何も疑わないでください。
さあ、
足を上げ下げしてみてください。
そうです、
そのように。
今度は
手を動かしてみてください。
そうです。
さあ、
歩いて
この階段を降りてください。
この女性に奇跡が起こりました。
歩いてください、姉妹。
さあ、
もう頭を上げて
見てもいいですよ。

そうですか。
これは実は
初めてのことに近いのです。
これまでに
この振動の反応を
自分で感じた人は
たった四人しかいません。
それは
転がったりする感じではなく、
私の手に
非常に強く当たってくるので、
後ろへ
押し返されるような感じになります。
彼女は
それを後ろから
感じているのです。
では今、
頭を垂れてください。
姉妹、
あなたは私の手を
見ていてください。
もしそれが去れば、

心臓に詰まりが起きています。
また
喘息もあります。
そして
とても神経が繊細で、
深く考え込む性格で、
物事が起こる前から
心配してしまうタイプです。
さて、姉妹、
私の手をよく見ていてください。
それが止まったかどうか、
あなた自身で
感じるができます。
あなたは
それを感じられますね。
きっと
とても良い信仰を
持っているのでしょう。
どちらから来られましたか？
スーペリアですか？
それは
アリゾナ州ですか？

見てください。
彼女は
リウマチで体が固まっていたのです。
皆さん、
「主をほめたたえよ！」
と言いましよう。
皆さんで
神を賛美しましよ。う。
このように。
見てください。
父なる神が
どのように働かれるかを。
彼女は
リウマチで
体が不自由だったのです。
49 では皆さん、
頭を垂れて祈りましよう。
皆さん、
祈りの中にいてください。
このように
静かで敬虔な心でいてください。
そうすれば神は

大いなることをさせていただきます。
私は
それを信じています。
天の父よ、
あなたの善良さと
憐れみに感謝いたします。
そして父よ、
多くの距離を旅して
癒されるために来た
この兄弟に
どうか
憐れみを示してください。
私たちが祈るとき、
どうか彼を助けてください。
サタンよ、
病をもたらす力よ、
この人から出て行け。
イエス・キリストの御名によって
命じる。
あなたに言います。
先ほど
癌の女性の証しを

感じますか？
これは
誰かがその振動を自分で感じた
四回目のことです。
皆さん、
少しの間
頭を上げてください。
ここで
この振動が
私の手にとても強く当たっているので、
この女性は
私の手が震えているのを
自分で感じているのです。
姉妹、
感じますか？
皆さんに
言ってあげてください。
彼女は
自分でもそれを感じています。
58 この女性は
心臓の病気を患っています。
それが原因で

それが正確に
何であるのかまでは
まだつかめません。
ちょっと
私の手を見てください。
こちらの手を見てください。
もしそれが
何か間違っているなら…
見てください…
おそらく
あなた自身も
この振動を感じる事ができる
と思います。
何か
小さな唸りのような感じが
しますか？
これは
私が感じた中でも
一番強い振動の一つです。
それが
私の体全体を通ってきて、
全身が揺さぶられるほどです。

話しましたね。
今、あなたに起こったことは
それと同じです。
私を知る限りの
すべての振動、
すべてのしるしは、
もう終わったと
示しています。
ですから
あなたは
行って
癒されてよいのです。
神が
あなたを祝福します。
神が
あなたを祝福します、兄弟。
50 もし私が神にお願いすれば、
あなたの視力を取り戻させてくださると信じますか？
あなたには
その潰瘍だけではなく、
ほかにもありますね？
そうでしょう。

それは
喘息ですね。
姉妹よ、
私があなたのそのことを知り、
それをあなたに言えるのは、
神によらなければできません。
そうでしょう？
私は
あなたのことを知らないのですから。
しかし
その振動から分かるのです。
それで
あなたに喘息があることが
分かるのです。
ですから
心から信じてください。
私たちの父よ、
すべての心の秘密を
明らかにされるお方よ、
どうか今
この姉妹に
憐れみを与えてください。

健康になります。
ですから
これからは
心から神を信じて
歩いてください。
振動は
一つも残っていません。
それが
しるしです。
神は
この婦人の立派な信仰に
報いてくださいました。
57 永遠の神よ、
その苦しみの中において
[テープ欠損]
父よ、
あなたの御子 イエス の御名によって
この女性の癒しを祈ります。
若い女性よ、
こちらを見てください。
あなたの体の中に
何かの感染があります。

すべての
賛美と栄光を
あなたに帰すでしょう。
父よ、
何週間も
待ち望まれていたこの時です。
どうか
それを成してください。
この姉妹を縛っている
悪霊よ、
生ける神の御子
イエス・キリストの御名によって命じる。
彼女から
出て行け。
[テープ欠損]
イエス・キリストの御名によって
命じる。
彼女から出て行け。
今、
すべての振動が
止まりました。
あなたは今

あなたの恵みと助けによって
ここに立っている私の思いを
あなたは
ご存じです。
先々週の日曜日以来、
あなたの臨在が離れ、
そして今
再びあなたの臨在がここにあり、
一人一人が
ここを通って行く中で
どうか父よ、
今この時
この姉妹を助け、
癒してください。
この苦しみをもたらし、
彼女の目を
盲目にしようとしている
この悪霊よ—
イエス・キリストの御名によって
この女性から出て行け。
イエス・キリストの御名によって
命じる。

51 その振動は……
もう消えています。
では、
部屋の中を少し見回してみてください。
周りを見てみてください。
あそこにある
あのライトが見えますか？
数えられますか？
指で
指してみてください。
そうです。
その方向です。
会衆の中のどなたか、
手を上げてください。
今、彼女には
この建物の中にある
十五個のライトが見えています。
では、
どなたか
手を上げてください。
その手が見えますね。
手が見えますね。

そして彼女は
この一週間ずっと
その人の
叫び声やうめき声を
聞いてきたのです。
しかし全能の神よ、
あなたは今日ここにおられ、
この出血を止め、
彼女を
健康な女性として
家へ帰らせることができます。
どうかそれを
成し遂げてください、父よ。
あなたの
へりくだった僕の祈りを
聞いてくださいますか。
父よ、
もしこれを
彼女に与えてくださるなら、
この婦人は
あなたに
献身した人生を生き、

しかし父よ、
今日
あなたは
青銅の蛇を掲げておられるのではなく、
あなたの賜物を
定めておられます。
それゆえ
人々は
あらゆる所から
やって来ています。
父よ、
この可哀そうな婦人は
私の故郷の地方から
山々や砂漠を越えて
何千マイルも旅をして、
祈ってもらうために
ここへ来ました。
彼女は
あのホテルに泊まっています。
そこでは
あなたを受け入れなかった誰かが
自殺してしまいました。

あそこにいる
緑色のコートを着た女性、
少し灰色の髪の方ですが—
その方は
指を一本だけ上げていますか？
それとも手全体を上げていますか？
あ、今
変えましたね。
ちょっと待ってください。
もう一度
手を上げてください、姉妹。
見えますか？
そうです。
では、
ここから
その女性が
緑のセーターを着ているのが
わかりますか？
はい、
よく見えています。
では、
彼女が今

何本の指を上げているか
分かりますか？
そこまで
数えられますか？
少し影になっていますが……
その通りです。
では皆さん、
言いましょう。
「主をほめたたえよ！」
皆さん、
頭を上げてください。
姉妹よ、
あなたの視力は
戻ってきています。
そしてあなたは
完全に健康な女性になります。
皆さん、
このようにして
神に賛美をささげましょう。

52 この前、ある人が
こう尋ねてきました。
「ブラナム兄弟、

ここへ来ました。
彼女は
シカゴから飛行機でここへ来たのです。
そして今、
結核を患っており、
出血もしています。
つい先ほども
出血があったばかりです。
愛する神よ、
あなたは
信仰をご覧になるお方です。
父よ、私は思います。
もし今でも
あの青銅の蛇が
荒野に掲げられていたなら、
人々は
その蛇を見るために
海を越えてでも飛んで来るでしょう。
なぜなら
それを見て
癒された人々がいたことを
知っているからです。

「お母さんは解放されたのよ。」
すべての振動は
止まりました。
今、
何か不思議な感じがするでしょう？
そうでしょう。
その習慣も
あなたから去りました。
これからは
生きている限り
それに近づかないでください。
神があなたを祝福します。

56 (女性がしばらくブラナム兄弟に話しかける)

はい、そうです、姉妹。
神があなたを祝福します。
それは
とても良い霊です。
では皆さん、
もう少しの間
頭を垂れていてください。
この婦人は
今日この集会のために

どうしてなのかわからないのですが、
祈ってもらって
癒された人たちが、
ペンテコステの人たちは
普段あんなに叫んだり
喜んだりするのに、
どうして
もっと喜び叫ばないのでしょうか。」
そこで私は
こう答えました。
「彼らは
ただ驚きで言葉を失っているのです。
あまりにも突然
その瞬間に
起こったことだからです。」
そして私は
こう言いました。
「一度、
この建物の外に出てみてください。
人々が
建物から出てくる時の様子
を見てみるといいでしょう。」

そうすれば
分かりますよ。」
それでは今、
皆さん、頭を垂れてください。
祈りましょう。

53 先ほどここにいた方は…
あの振動を感じました。
誰も右手に何も持たないでください。
私は…
皆さん、頭を垂れてください。
[テープ欠損]
すべてのことは
神の御手の中に委ねられています。
私があの人のために祈っていた時、
私の手に感じていた振動が止まりました。
それは、
彼女の命のために来たものだったのです。
あの婦人も、
私たちと同じように
生きたいと願っているのです。
[テープ欠損]
そして今、私は心から信じています。

もう二度とそれをしないようにしてください。
サタンよ、
この女性が
告白したこと、
そして
純粋な心で神に仕えたいと願っていることの上に立って、
私は
イエス・キリストの御名によって命じる。
この女性から
出て行け。
姉妹よ、
見てください。
すべての振動が止まりました。
あなたは
その習慣からも
解放されました。
これからは
心から神に仕えてください。
あなたは
息子さんに会えます。
彼の首に腕を回して
こう言うでしょう。

この癌はあなたから離れないのです。
それが
あなたを縛っていた理由です。
ですから
祈りなさい。
そうしますか？
神の憐れみによって
そうしますか？
神は
あなたを解放してくださると
信じますか？
父よ、
この姉妹は今
それを祭壇に置く決心をしました。
天の神よ、
私がどうして
それを知ることができたのか、
あなたはご存じです。
どうか神よ、
彼女の心から
その欲望を取り去り、
彼女が

彼女はフェニックスの女性です。
あなた方はまた街で、
元気になった彼女を見ることになるでしょう。
さて…
皆さんが頭を垂れていてくださったこと、
また礼儀正しくしてくださったことに、
心から感謝します。
本当に皆さんは素晴らしい方々です。
そして私は、皆さんの信仰があることを知っています。
もしここに
ウォールドロップ姉妹がいて、
この婦人に証しをしてくださったなら、
どんなに良かったことでしょう。
彼女がどこから来ているのか、
私は分かりませんが…。
ウォールドロップ姉妹、
もしよろしければ、こちらに来て
この婦人に証しをしていただけませんか。
あなたの状態がどうだったのかを
話してあげてください。
ここに、
フェニックスの女性がいます。

彼女もかつて
癌で死にかけていました。
実際、
以前ここで集会をしていた時、
彼女はこの場所で
癌のために倒れてしまったのです。
彼女を知っている人は、
手を挙げてください。
(多くの人が手を挙げる)
ウォールドロップ夫人、そこにいます。
救急車を
少し待たせてください。
この婦人のために、
証しをしていただきたいのです。
では、お願いします。

[テープ欠損]

54 覚えておいてください。

私の心は、神の前で誠実でありたいと願っているのです。
そうする方が良いでしょう？
ただそのまま見過ごしてしまうより、
人が癒される方が良くないと思いませんか？
そうでしょう？

正直に話してくれますね？
実は、
あなたの癒しを妨げているものがあります。
私は
それが何か知っています。
それを
あなたに言いたいですか？
それとも
ただ手放しますか？
それは
密かにしてきたことです。
あなたも
私がそれを知っていることが
分かっていますね？
そうですね。
もう
それをしてはいけません。
ええ、私は知っています。
神の啓示によって
それが示されたのです。
しかし見てください。
そのことを手放さなければ

さて、あなたはどこに住んでいますか、姉妹？
アリゾナ州グローブですか。
あそこは
良い土地ですね。
では、
私の方を見てください。
悲しそうな気持ちにならないでください。
ただ今は
体を楽にして、落ち着こうとしてみてください。
できますか？
結婚しておられますか？
ええ。
お子さんはいますか？
海外に息子さんがいるのですね。
その子に
また会いたいですよ、母親として。
会えますよ。
私も
彼にあなたに会ってほしいのです。
さて、よく聞いてください。
私はあなたに正直に話しています。
あなたも私に

さて、この婦人は良くなります。
ここにいるウォールドロップ姉妹のように、
いつの日かあなた方と一緒に
街を歩いている姿を見るでしょう。
そして裁きの日が来たとき、
あなたがここに座って
とても敬虔な態度でいたことを
喜ぶことになるでしょう。
それではもう一度、
さらに祈るために頭を垂れてください。
はい、姉妹。
さて、あなたは…
どれくらい前からそれを知っていましたか？
ご覧なさい。
医者はあるあなたのために出来ることはすべてしました。
今、あなたの唯一の望みはここにあります。
あなたの愛する人たちは
出来ることをしてくれました。
医者も
出来ることはすべてしてくれました。
そして今、
あなたの救い主があなたを癒すことができるのです。

それを信じますか？

では、よろしい。

今、頭を垂れてください。

天の父よ、

私たちは今、

この姉妹の命が終わりに近いことを知っています。

彼女は、

まもなく私たちのもとを離れようとしています。

父よ、

彼女はどこか

暗い永遠の中へと向かおうとしています。

あなたは彼女の状態をご存じです。

彼女の魂をご存じです。

もし彼女が今死ぬなら、

どこへ行くのかも

あなたはご存じです。

父よ、

あなたは私たちすべてをご存じです。

あなたは

私たち一人一人を

名前で知っておられます。

あなたは

私たちの頭の髪の毛の一本一本まで

数えておられます。

あなたは

私たちのすべてをご存じです。

医者たちは

自分たちの知識の限りで

出来ることをすべてしました。

彼らは彼女に

レントゲンを撮り、

治療を施しました。

しかし今、

癌が彼女の命を奪おうとしています。

父よ、

彼女を癒すことができるのは、ただあなたのみです。

悪霊よ、

神の御子イエス・キリストの御名によって命じる。

この女から

出て行け。

55 では皆さん、

頭を垂れたままでいてください。

そして彼女のために

心の中で祈ってください。